

2025年度

エンジン基礎 シラバス

課程・学年	国際自動車整備科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	導入	教科時間計	16

	エンジン基礎A		エンジン基礎B	
教員名 実務経験	山崎 敬介 自動車メーカー	丹羽 暁彦 自動車販売店		
1.授業概要と履修前提	車両の基本的な取り扱いを勉強する。 車両の手入れを勉強する。 ☆自動車販売店での整備経験者により、上記専門知識を			
2.教科の到達目標	車両を丁寧に取り扱い、手入れをすることができる。 エンジンルームの内部が日本語で名前、役割が理解できる			
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト: 工具・計測機器・整備機器編 トヨタサービス技術テキスト: 導入編 7か国語で分かる整備用語(公論出版)			
4.授業時間	導入	16	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(学科:エンジン基礎A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1~3	山崎 矢下	エンジン基礎	エンジン基礎の車両の取り扱い基本を理解する	225	3
導入	4~6	山崎 矢下	エンジン基礎	エンジン基礎の車の手入れ洗車・ワックス掛け方を理解する	225	3
導入	7~9	山崎 矢下	エンジン基礎	エンジン基礎のエンジンルーム確認各部品名称・役目を理解する	225	3
導入	10~15	山崎 矢下	エンジン基礎	エンジン基礎のまとめ・復習	225	6
導入	16	山崎 矢下	エンジン基礎	エンジン基礎の確認試験	225	1

授業計画表(学科:エンジン基礎B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2024年度

キャリアC基礎 シラバス

課程・学年	国際自動車整備科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	前期	教科時間計	10

	キャリアC基礎A	キャリアC基礎B
教員名 実務経験	山崎 敬介 自動車メーカー	丹羽 暁彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	日本での運転免許取得に必要な学科内容を学ぶ。	
2.教科の到達目標	在学中に運転免許をスムーズに取得することができる。	
3.使用教科書、準備品	運転学科教本(印刷)	
4.授業時間	前期 10 - 0	前期 0 - 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(△)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (○)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験	

授業計画表(学科:キャリアC基礎A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	市村 山崎	運転学科教本	項目1を90%以上理解できる	225R	1
前期	2	市村 山崎	運転学科教本	項目2を90%以上理解できる	225R	1
前期	3	市村 山崎	運転学科教本	項目3を90%以上理解できる	225R	1
前期	4	市村 山崎	運転学科教本	項目4を90%以上理解できる	225R	1
前期	5	市村 山崎	運転学科教本	項目5を90%以上理解できる	225R	1
前期	6	市村 山崎	運転学科教本	項目6を90%以上理解できる	225R	1
前期	7	市村 山崎	運転学科教本	項目7を90%以上理解できる	225R	1
前期	8	市村 山崎	運転学科教本	項目8を90%以上理解できる	225R	1
前期	9	市村 山崎	運転学科教本	項目9を90%以上理解できる	225R	1
前期	10	市村 山崎	平常試験	平常試験で90%以上の点数を取れる	225R	10

授業計画表(学科:キャリアC基礎B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2025年度 エンジン基礎実習 シラバス

課程・学年	国際自動車整備科 1年	
学・実区分	実習	定期試験時間 4
実施期	後期	教科時間計 46

教員名 実務経験	エンジン基礎実習A		エンジン基礎実習B	
	山崎 敬介 自動車メーカー	丹羽 暁彦 自動車販売店		
1.授業概要と履修前提	エンジンの基本的を勉強する。 日本語での部品名や役割を説明できるようになる ☆自動車販売店での整備経験者により、上記専門知識を			
2.教科の到達目標	車両を丁寧に取り扱い、手入れをすることができる。 エンジンルームの内部が日本語で名前、役割が理解できる			
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト: 工具・計測機器・整備機器編 トヨタサービス技術テキスト: 導入編 7か国語で分かる整備用語(公論出版)			
4.授業時間	後期 46	- 0	後期 0	- 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(実習:エンジン基礎A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1~2	市村 丹羽	エンジン基礎	エンジン実習基礎のエンジン部品交換要領エンジンオイル交換ができるようになる	225,31	2
後期	3~4	市村 丹羽	エンジン基礎	エンジン実習基礎のエンジン部品交換要領オイルフィルター交換ができるようになる	225,31	2
後期	5~6	市村 丹羽	エンジン基礎	エンジン実習基礎のエンジン部品交換要領冷却水交換ができるようになる	225,31	2
後期	7~8	市村 丹羽	エンジン基礎	エンジン実習基礎のエンジン種類確認横置き・縦置きができるようになる	225,31	2
後期	9~10	市村 丹羽	エンジン基礎	エンジン実習基礎のエンジン種類確認直列・V型ができるようになる	225,31	2
後期	11~14	市村 丹羽	エンジン基礎	エンジン実習基礎の排出ガス浄化装置各部品の名称と取り付け場所ができるようになる	225,31	4
後期	15~30	市村 丹羽	エンジン基礎	エンジン実習基礎の専門用語日本語変換ができるようになる	225,31	16
後期	31~36	市村 丹羽	エンジン基礎	まとめ・復習	225,31	6
後期	37~42	市村 丹羽	エンジン基礎	レポート作成	225,31	6
後期	43~46	市村 丹羽	エンジン基礎	定期試験	225,31	4

授業計画表(実習:エンジン基礎B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2025年度

シャシ基礎 シラバス

課程・学年	国際自動車整備科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	52

教員名 実務経験	シャシ基礎A		シャシ基礎B					
	安田 和広	古川 幸 自動車販売店						
1.授業概要と履修前提	車両の基本的な取り扱いを勉強する。 車両の手入れを勉強する。 ☆自動車販売店での整備経験者により、上記専門知識を							
2.教科の到達目標	車両を丁寧に取り扱い、手入れをすることができる。 車両のシャシ部品が日本語で名前、役割が理解できる							
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト:工具・計測機器・整備機器編 トヨタサービス技術テキスト:導入編 7か国語で分かる整備用語(公論出版)							
4.授業時間	後期	58	-	0	後期	0	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法								

授業計画表(学科:シャシ基礎A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～5	安田 古川	エレキ基礎	ブレーキフルード性質、取り扱い上の注意3級シャシP154を理解する	225	5
後期	6～20	安田 古川	エレキ基礎	ブレーキの計算ペダル比、油圧を理解する	225	15
後期	21～23	安田 古川	エレキ基礎	ボルト、ナットの知識各部名称を理解する	225	3
後期	24～36	安田 古川	エレキ基礎	専門用語日本語変換	225	13
後期	37～38	安田 古川	エレキ基礎	まとめ、復習	225	2
後期	39～56	安田 古川	エレキ基礎	車両運転技術	225	18
後期	57～58	安田 古川	エレキ基礎	定期試験	225	2
						58

授業計画表(学科:シャシ基礎B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2025年度

電気装置基礎 シラバス

課程・学年	国際自動車整備科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	52

教員名 実務経験	電気装置基礎A		電気装置基礎B	
	増田 靖隆	深田 卓也		
1.授業概要と履修前提	車両の基本的な取り扱いを勉強する。 車両の手入れを勉強する。 ☆自動車販売店での整備経験者により、上記専門知識を			
2.教科の到達目標	車両を丁寧に取り扱い、手入れをすることができる。 車両の電装品が日本語で名前、役割が理解できる			
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト: 工具・計測機器・整備機器編 トヨタサービス技術テキスト: 導入編 7か国語で分かる整備用語(公論出版)			
4.授業時間	後期	56	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(学科:電気装置基礎A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1~2	市村 山崎	エレキ基礎	バッテリー概要役目を理解する	225	2
後期	3~4	市村 山崎	エレキ基礎	バッテリー構造種類、各部名称を理解する	225	2
後期	5~6	市村 山崎	エレキ基礎	バッテリーの性能放電、充電を理解する	225	2
後期	7~8	市村 山崎	エレキ基礎	スターターの作動を理解する	225	2
後期	9~10	市村 山崎	エレキ基礎	モーターの種類、効率直巻、フェライト磁石式を理解する	225	2
後期	10~11	市村 山崎	エレキ基礎	スターターの構造直結型、リタクション型を理解する	225	2
後期	12	市村 山崎	エレキ基礎	概要構造、種類を理解する	225	1
後期	13~14	市村 山崎	エレキ基礎	点火の基礎電圧発生原理を理解する	225	2
後期	15	市村 山崎	エレキ基礎	点火装置の作動トランジスタ式を理解する	225	1
後期	16	市村 山崎	エレキ基礎	スパークプラグを理解する	225	1
後期	17~18	市村 山崎	エレキ基礎	点火時期制御エンジン作動と点火時期エンジン作動も説明を理解する	225	2
後期	19~21	市村 山崎	エレキ基礎	点火時期制御回転速度、負荷、水温を理解する	225	3
後期	22~31	市村 山崎	エレキ基礎	オームの法則を理解する	225	10
後期	32	市村 山崎	エレキ基礎	充電装置構造オルタネータの構造ロータ、ステータ、ホルテージレギュレータを理解する	225	1
後期	33~34	市村 山崎	エレキ基礎	発電の原理3相交流、結線を理解する	225	2
後期	35~37	市村 山崎	エレキ基礎	発生電圧の制御ボルテージレギュレータを理解する	225	3
後期	38~47	市村 山崎	エレキ基礎	専門用語日本語変換を理解する	225	10
後期	48~53	市村 山崎	エレキ基礎	まとめ、復習	225	6
後期	54~55	市村 山崎	エレキ基礎	定期試験	225	2

授業計画表(学科:電気装置基礎B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2024年度

キャリアA基礎 シラバス

課程・学年	国際自動車整備科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	11

	キャリアA基礎A	キャリアA基礎B
教員名 実務経験	山崎 敬介 自動車メーカー	丹羽 暁彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	自動車整備や国家試験に必要な日本語を学ぶ。特に書くことを重視して授業は進めます。	
2.教科の到達目標	2,3年次の授業で使用される整備系用語を理解し平常試験、レポート、定期試験で正しい日本語を書けるようにする。	
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス導入編 トヨタサービス第1STEP 7か国語でわかる整備用語(公論出版)	
4.授業時間	学年末 11 - 0	学年末 0 - 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	確認試験	

授業計画表(学科:キャリアA基礎A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	10	市村 山崎	トヨタサービス1STEP	第1ステップテキストの後半内容の漢字を讀めて意味が分かる。	225R	10
学年末	11	市村 山崎	確認試験	確認試験で60%以上の点数を取れる。	225R	1

授業計画表(学科:キャリアA基礎B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2024年度

キャリアC基礎 シラバス

課程・学年	国際自動車整備科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	3

	キャリアC基礎A	キャリアC基礎B
教員名 実務経験	山崎 敬介 自動車メーカー	丹羽 暁彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	日本での運転免許取得に必要な学科内容を学ぶ。	
2.教科の到達目標	在学中に運転免許をスムーズに取得することができる。	
3.使用教科書、準備品	運転学科教本(印刷)	
4.授業時間	学年末 3 - 0	学年末 0 - 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(△)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (○)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	確認試験	

授業計画表(学科:キャリアC基礎A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	市村 山崎	運転学科教本	模擬試験1で90%以上の点数を取れる	225R	1
学年末	2	市村 山崎	運転学科教本	模擬試験2で90%以上の点数を取れる	225R	1
学年末	3	市村 山崎	運転学科教本	模擬試験3で90%以上の点数を取れる	225R	1

授業計画表(学科:キャリアC基礎B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2024年度

シラバス

課程・学年	国際自動車整備科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	0

	A		B	
教員名 実務経験	山崎 敬介 自動車メーカー	丹羽 暁彦 自動車販売店		
1.授業概要と履修前提				
2.教科の到達目標				
3.使用教科書、準備品				
4.授業時間	学年末	0	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (○)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(学科:A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1			1のものを理解する		1
後期	2~3			9のものを理解する		2
後期	4					1
後期	5					1
後期	6					1

授業計画表(学科:B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2025年度

エンジン基礎 シラバス

課程・学年	国際自動車整備科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	0

教員名 実務経験	エンジン基礎A		エンジン基礎B	
		山崎 敬介 自動車メーカー	丹羽 暁彦 自動車販売店	
1.授業概要と履修前提				
2.教科の到達目標				
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト: 工具・計測機器・整備機器編 トヨタサービス技術テキスト: 導入編 7か国語で分かる整備用語(公論出版)			
4.授業時間	学年末	0	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(学科:エンジン基礎A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

授業計画表(学科:エンジン基礎B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2025年度

シャシ基礎 シラバス

課程・学年	国際自動車整備科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	8

教員名 実務経験	シャシ基礎A		シャシ基礎B	
	安田 和広	古川 幸 自動車販売店		
1.授業概要と履修前提	車両の基本的な取り扱いを勉強する。 車両の手入れを勉強する。 ☆自動車販売店での整備経験者により、上記専門知識を			
2.教科の到達目標	車両を丁寧に取り扱い、手入れをすることができる。 車両のシャシ部品が日本語で名前、役割が理解できる			
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト: 工具・計測機器・整備機器編 トヨタサービス技術テキスト: 導入編 7か国語で分かる整備用語(公論出版)			
4.授業時間	学年末	0	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(学科:シャシ基礎A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

授業計画表(学科:シャシ基礎B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2025年度

電気装置基礎 シラバス

課程・学年	国際自動車整備科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	8

教員名 実務経験	電気装置基礎A		電気装置基礎B	
	増田 靖隆	深田 卓也		
1.授業概要と履修前提	車両の基本的な取り扱いを勉強する。 車両の手入れを勉強する。 ☆自動車販売店での整備経験者により、上記専門知識を			
2.教科の到達目標	車両を丁寧に取り扱い、手入れをすることができる。 車両の電装品が日本語で名前、役割が理解できる			
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト: 工具・計測機器・整備機器編 トヨタサービス技術テキスト: 導入編 7か国語で分かる整備用語(公論出版)			
4.授業時間	学年末	0	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(学科:電気装置基礎A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

授業計画表(学科:電気装置基礎B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2025年度

エンジン I -A シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 0

実施期 導入

教科時間計 6

エンジン I -A

教員名 実務経験	定行 智	足立 拓 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	工具の名称・用途について学ぶ 工具を使った基本的な作業方法を身に付ける 全ての作業に通じる作業姿勢など、基本動作を身に付ける	
2.教科の到達目標	工具の名称・用途等を、身に付けることができる 自動車部品の分解・組み付けにおいて、安全で正確な作業ができるようになる	
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術 テキスト 工具・計測器・整備機器編 TEAM-GP テキスト 導入編 工具一式	
4.授業時間	学科 1	実習 5
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (○)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	評価なし	

授業計画表(:エンジン I -A)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	定行	足立	工具取り扱い	工具の名称・用途が理解できる		1
実習	1	定行	足立	工具の選択	作業種類に応じた工具の選択 使い方の基礎能力を養う	224	1
実習	2	定行	足立	工具の使い方	スパナ オフセットレンチ エクステンションバー Tハンドル スピンナーハンドル ラチェット	224	1
実習	3	定行	足立	工具の使い方	ソケットレンチ ソケットアダプター ドライバー ソケットドライバー プライヤー ニードルノーズ	224	1
実習	4	定行	足立	締め付けトルク	F型トルクレンチで正しい締め付けができるようになる	224	1
実習	5	定行	足立	作業姿勢・備品の脱着	ボルトナットスタッドボルト 脱着ができる	224	1

2025年度

エンジン I-B シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年		
		定期試験時間	0
実施期	導入	教科時間計	6

エンジン I-B	
教員名 実務経験	菊田 直樹 自動車メーカー 安池 孝夫
1. 授業概要と履修前提	エンジンの種類と役割について学ぶ 4サイクルエンジンの基本的な作動について学ぶ 作業をするうえで最も大切な『安全な作業』を身に付ける
2. 教科の到達目標	今後エンジンについて学ぶ入り口として、4サイクルエンジンとは？を概要的に説明できる
3. 使用教科書、準備品	TEAM-GP技術テキスト 導入編 TEAM-GP技術テキスト 1STEP
4. 授業時間	学科 0 実習 6
5. ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
6. 評価方法	評価なし

#REF!							
実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
実習	1	菊田	安池	エンジンの種類・役割	基本的なエンジンの種類について理解できる	教室	1
実習	2	菊田	安池	4サイクルエンジン	4サイクルエンジンのやその他の構造について理解できる	教室	1
実習	3	菊田	安池	作業安全(全般)	実作業の中で注意するポイントを知る	教室	1
実習	4	菊田	安池	保護具	保護具の定義が理解できる	32実	1
実習	5	菊田	安池	エンジン始動(安全作業)	エンジン始動に必要な準備、前点検ができるようになる	32実	1
実習	6	菊田	安池	エンジン始動(安全作業)	始動中の安全行動、始動後の4S作業を実施することができる	32実	1

2025年度

シャシ I-A シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年	
実施期	導入	定期試験時間 0 教科時間計 6

シャシ I-AA	
教員名 実務経験	中田 善之 鈴木 郁哉 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> 正しい車両の取扱いを学ぶ 安全なジャッキアップダウンを学ぶ
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 正しい車両の取扱いを理解し、実践できる ジャッキ、リジッドラックの前点検、正しい取扱いができる 安全にジャッキアップダウンができる
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス TEAM GP G4(導入編)
4.授業時間	学科 0 実習 6
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
6.評価方法	平常試験80%, レポート点20%

授業計画表(:シャシ I-A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	1	中田 鈴木	車両取扱い	安全で正確な取扱いができる		1
実習	2	中田 鈴木	車両取扱い	車両保護、管理カルテ、車両受け入れ作業ができる		1
実習	3	中田 鈴木	ジャッキ取扱い	ジャッキおよびリジッドラックの前点検、安全な操作ができる		1
実習	4	中田 鈴木	ジャッキアップ	リジッドラックの配置の仕方を理解し、安全にジャッキアップができる		1
実習	5	中田 鈴木	タイヤ脱着	正しいタイヤの脱着ができる		1
実習	6	中田 鈴木	ジャッキダウン	安全にジャッキダウンができる		1

2025年度

シヤシ I-B シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年	
実施期	導入	定期試験時間 0 教科時間計 6

シヤシ I-B	
教員名 実務経験	小野田 貴文 自動車販売店 坂元 亮太
1.授業概要と履修前提	計測機器の取り扱いについて学ぶ。
2.教科の到達目標	ノギスの測定原理を理解し、測定値が読めるようになる。 マイクロメーターの測定原理を理解し、測定値が読めるようになる。
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト(工具・計測器・整備機器編) PC
4.授業時間	学科 3 実習 3
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
6.評価方法	なし

授業計画表(:シヤシ I-B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	小野田(貴) 坂元	ノギス	ノギスの作動説明と測定作業のテストピースを測定ができる	244	1
学科	2	小野田(貴) 坂元	マイクロメーター	マイクロメータの作動説明とピストン外径の測定作業ができる	244	1
学科	3	小野田(貴) 坂元	マイクロメータ・確認試験	マイクロメータ測定作業、及び、確認試験(学科・実技)が解ける	244	1
実習	1	小野田(貴) 坂元	測定作業	測定に必要な知識、注意点を理解できる	223	1
実習	2	小野田(貴) 坂元	測定作業	ノギスの構造、作動が理解でき、正しく測定値が読み取れる	223	1
実習	3	小野田(貴) 坂元	測定作業	マイクロメーターの構造、作動が理解でき、正しく測定値が読み取れる	223	1

2025年度

シャシ I-C シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年	
実施期	導入	定期試験時間 0 教科時間計 6

シャシ I-C	
教員名 実務経験	本間 滉太郎 自動車販売店 大橋 信夫
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> ・ステアリング装置、ブレーキ装置についてその構造・作動を学ぶ ・駆動方式の種類、特徴について学ぶ ・正しい車両の取扱いを学ぶ
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の三大要素である「走る」「曲がる」「止まる」の主要部品を答えることができる ・イラストから駆動方式を判断することができる ・駆動方式の特徴を答えることができる ・正しい車両の取扱いを理解し、実践できる
3.使用教科書、準備品	<ul style="list-style-type: none"> ・日整連 2級自動車整備士(総合) 3級自動車整備士(総合) ・トヨタサービス TEAM GP G4(導入編)及び(1STEP) ・自動車整備技術 シャシ2
4.授業時間	学科 4 実習 2
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
6.評価方法	なし

授業計画表(:シャシ I-C)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	本間 大橋	ステアリング	役目、仕組みを理解し、説明できる	学科教室	1
学科	2	本間 大橋	ブレーキ	役目、仕組みを理解し、説明できる	学科教室	1
学科	3	本間 大橋	動力伝導装置	役目、仕組みを理解し、説明できる	学科教室	1
学科	4	本間 大橋	動力伝導装置	FF, FR, 4WD, MR, RRの区別ができる	学科教室	1
実習	1.2	本間 大橋	車両取り扱い	ステアリング・ブレーキ装置確認	53	2

2025年度

電気装置 I -A シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年		
実施期	導入	定期試験時間	0
		教科時間計	6

電気装置 I -A	
教員名 実務経験	佐々木 健太 友山 昌樹 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	車で使用される電気に関する基礎的な内容を学ぶ。 車両の受け入れチェックを行う。車両取扱の概要 灯火装置概要
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の受け入れチェックを実施することができる。 ・エンジン始動やバッテリーのマイナス端子取り付けなど基本的な車両の取扱いができる。
3.使用教科書、準備品	プリント(授業時に配布) 手持ち工具、保護具(眼鏡・手袋)
4.授業時間	学科 0 実習 6
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
6.評価方法	

授業計画表(:電気装置 I -A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	1	佐々木 友山	電気概要	車両の電源が理解でき、電流の流れが説明できる。	247	1
実習	2	佐々木 友山	安全作業	安全作業を意識して、作業を行うことができる	247	1
実習	3	佐々木 友山	車両取り扱い	車両チェック(受入・終了)、及び、エンジン始動が安全に実施できる	35B	1
実習	4	佐々木 友山	ドアロック	ドアロックの機能、種類を理解できる	35B	1
実習	5	佐々木 友山	灯火装置	車に使用されている灯火装置の概要、操作を理解できる	35B	1
実習	6	佐々木 友山	バッテリー	バッテリーの一端子脱着作業ができる	35B	1

2025年度

電気装置 I-B シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 0

実施期 導入

教科時間計 12

電気装置 I-B

教員名 実務経験	西谷 孝也	加藤 安昭
1.授業概要と履修前提	オームの法則を使用し、電気の基本知識を身に付ける オームの法則を復習しておくことを必要とする サーキットテスタ(デジタル)の取り扱い	
2.教科の到達目標	直流の電圧・電流・抵抗の関係が説明できるようになる オームの法則を使った基本問題が解ける。(直列・並列問題) サーキットテスタ(デジタル)の基本的な取り扱い サーキットテスタ(デジタル)を使って電圧予測及び電圧、抵抗測定ができるようになる	
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス 技術テキスト(工具・計測器・整備機器編)	
4.授業時間	学科 4	実習 8
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験100%	

授業計画表(:電気装置 I-BA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	西谷 大橋	電気の基本(学科)	オームの法則(電圧、電流、抵抗の関係)が説明できる		1
学科	2	西谷 大橋	電気の基本(学科)	直流と交流の違いが答えられる		1
学科	3	西谷 大橋	電気の基本(学科)	抵抗の直列、並列のつなぎ方ができる		1
学科	4	西谷 大橋	電気の基本(学科)	e-テスト(G41044-T01)		1
実習	1	西谷 大橋	デジタルテスタ	各部名称及び測定できるものが理解できている		1
実習	2	西谷 大橋		測定前準備(ゼロ点確認、導通点検)ができる		1
実習	3	西谷 大橋		電圧測定ができる		1
実習	4	西谷 大橋		抵抗測定ができる		1
実習	1	西谷 大橋	電気基礎	電圧、電流、抵抗の関係が答えられる(予測と測定)		1
実習	2	西谷 大橋		オームの法則練習問題が全て解ける		1
実習	3	西谷 大橋		電力について理解ができる		1
実習	4	西谷 大橋		確認試験得点率 60%以上		1

2025年度

電気措置 I-C シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年	
実施期	導入	定期試験時間 0 教科時間計 6

電気措置 I-C	
教員名 実務経験	大橋 登 自動車メーカー 小野田 皓基
1.授業概要と履修前提	オームの法則を使用し、電気の基本知識を身に付ける オームの法則を復習しておくことを必要とする サーキットテスタ(デジタル)の取り扱い
2.教科の到達目標	直流の電圧・電流・抵抗の関係が説明できるようになる オームの法則を使った基本問題が解ける。(直列・並列問題) サーキットテスタ(デジタル)の基本的な取り扱い サーキットテスタ(デジタル)を使って電圧予測及び電圧、抵抗測定ができるようになる
3.使用教科書、準備品	TEAM-GP 技術テキスト G4(PDF) トヨタサービス 技術テキスト(工具・計測器・整備機器編)
4.授業時間	学科 0 実習 6
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
6.評価方法	平常試験100% 平常試験80%、レポート20%

授業計画表(：電気措置 I-C)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	市位 小野田	電気の基礎(学科)	オームの法則(電圧、電流、抵抗の関係)が説明できる		
学科	2	市位 小野田	電気の基礎(学科)	直流と交流の違いが答えられる		
学科	3	市位 小野田	電気の基礎(学科)	抵抗の直列、並列のつなぎ方ができる		
学科	4	市位 小野田	電気の基礎(学科)	e-テスト(G41044-T01)		
実習	1	市位 小野田	デジタルテスタ	各部名称及び測定できるものが理解できている		1
実習	2	市位 小野田		測定前準備(ゼロ点確認、導通点検)ができる		1
実習	3	市位 小野田		電圧測定ができる		1
実習	4	市位 小野田		抵抗測定ができる		1
実習	5	市位 小野田	電気基礎	電圧、電流、抵抗の関係が答えられる(予測と測定)		1
実習	6	市位 小野田		オームの法則練習問題が全て解ける		1
実習	7	市位 小野田		電力について理解ができる		
実習	8	市位 小野田		確認試験得点率 60%以上		

2025年度

エンジン I -A シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 2

実施期

前期

教科時間計 43

		エンジン I -A	
教員名 実務経験	定行 智		足立 拓
			自動車販売店
1.授業概要と履修前提	ガソリンエンジン概要 仕組み 3要素 動弁機構 冷却装置 吸気排気装置 構造と交換作業 修理書の見方 工具取り扱い 習熟		
2.教科の到達目標	動弁機構について理解し説明でき、国家試験が解ける 吸排気装置・冷却装置を理解し説明できる 冷却・動弁装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる 工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる		
3.使用教科書、準備品	・タブレット ・工具 ・保護具 ・ウエス 二級自動車整備士(総合)・三級自動車整備士(総合) 自動車整備技術 エンジン編		
4.授業時間	学科	14	実習 27
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている		
6.評価方法	学科→定期試験100点満点中45点 実技→定期試験100点満点中40点 実技チェック→100点満点中10点、レポート→100点満点中5点		

授業計画表(:エンジン I -A)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1~4	定行	足立	動弁装置	基本的なエンジンの構造・動弁機構種類が理解できる		4
学科		定行	足立	動弁装置	(エンジンメカニカル2 動弁機構の種類)		
学科		定行	足立	動弁装置	(エンジンメカニカル2 動弁機構の構成)		
学科		定行	足立	動弁装置	(エンジンメカニカル2 バルブタイミング)		
学科	5,6	定行	足立	動弁装置	バルブタイミング 国家試験問題が解ける		2
学科	7,8	定行	足立	吸排気装置	基本的なエンジンの構造 吸気装置の仕組みが理解できる		2
学科		定行	足立	吸排気装置	(エンジンメカニカル3 吸気装置)		
学科	9	定行	足立	吸排気装置	基本的なエンジンの構造 排気装置の仕組みが理解できる		1
学科		定行	足立	吸排気装置	(エンジンメカニカル4 排気)		
学科	10~14	定行	足立	冷却装置	基本的なエンジンの構造 冷却装置の仕組みが理解できる		5
学科		定行	足立		(エンジンメカニカル5 冷却装置)		
実習	1	定行	足立	修理書の見方	一般作業の説明範囲 準備品 作業手順について理解を深める		1
実習		定行	足立		用語の定義 略語 SI単位について理解を深める		
実習		定行	足立		標準ボルトナットについての理解を深める		
実習	2,3	定行	足立	冷却装置	冷却装置の主要部品の名称・役目・実物が一致する	32実	2
実習	4~6	定行	足立	分解作業	修理書を使用し組み付け行程の事も考えた分解作業ができる	32実	3
実習		定行	足立		冷却水抜き取り		
実習		定行	足立		ラジエータ取り外し、ベルト・ファンプーリー取り外し		
実習		定行	足立		テンションナー、ウォーターポンプ、サーモスタット取り外し		
実習	7,8	定行	足立	構造研究	各部品の構造を理解する	32実	2
実習	9	定行	足立	点検、作動確認	サーモスタット、ファンクラッチ	32実	1
実習	10~13	定行	足立	組付作業	修理書を使用し正確な組み付け作業ができる	32実	4
実習		定行	足立		サーモスタット、ウォーターポンプ、テンションナー取り付け		
実習		定行	足立		ベルト・ファンプーリー取り付け、ラジエータ取り付け		
実習		定行	足立		冷却水注水		
実習	14~16	定行	足立	各種点検	漏れ点検、キャップ点検、LLC濃度点検	32実	3
実習	17~19	定行	足立	動弁機構	動弁機構(ラッシュアジャスター含む)について理解を深める	32実	3
実習	20~22	定行	足立	動弁装置	バルブ交換作業ができる	32実	3
実習	23,24	定行	足立	吸排気装置	吸気・排気装置の概要について理解を深める	32実	2
実習	25,26	定行	足立	チェックシート	冷却水交換・漏れ点検【TEAM-GP チェックシート】	32実	2
実習	27	定行	足立	まとめ	ペーパー問題		1

2025年度

エンジン I-B シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 2

実施期

前期

教科時間計 43

エンジン I-B

教員名 実務経験	菊田 直樹 自動車メーカー	安池 孝夫
1.授業概要と履修前提	内燃機関、ガソリンエンジン概要 仕組み 燃料装置・EFI概要・始動装置概要 燃料装置 構造と交換作業 EFI概要 修理書の見方、工具取り扱い 習熟	
2.教科の到達目標	エンジンの性能について理解し説明でき、国家試験が解ける ガソリンエンジン概要、燃料装置・始動装置を理解し説明できる 燃料装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる 工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる	
3.使用教科書、準備品	・タブレット ・工具 ・保護具 ・ウエス 二級自動車整備士(総合) 三級自動車整備士(総合) 自動車整備技術 エンジン編	
4.授業時間	学科 17	実習 24
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	学科→定期試験100点満点中45点 実技→定期試験100点満点中40点 実技チェック→100点満点中10点、レポート→100点満点中5点	

授業計画表(:エンジン I-B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	菊田 安池	エンジンが力を出す仕組み	ガソリンエンジン概要が理解できる 2STEP		1
学科	2	菊田 安池	エンジンが力を出す仕組み	ガソリンエンジンの仕組みが理解できる		1
学科	3	菊田 安池	エンジンが力を出す仕組み	各行程の作動が理解できる		1
学科	4	菊田 安池	ガソリン3要素	エンジンの力をコントロールする要素を理解する		1
学科	5	菊田 安池	【eテスト】	ガソリンが力を出す仕組み 70点以上合格		1
学科	6~8	菊田 安池	燃料装置	基本的なエンジンの構造 燃料装置の仕組みが理解できる (エンジンメカニカル3 燃料装置)		3
学科	9	菊田 安池	始動装置	基本的なエンジンの構造 始動装置の仕組みが理解できる		1
学科	10	菊田 安池	EFI	概要が理解できる		1
学科	11	菊田 安池	EFI	主要な構成部品と基本制御が理解できる		1
学科	12	菊田 安池	EFI	各種センサーアクチュエータが理解できる		1
学科	13	菊田 安池	エンジンの性能	基本的なスペックの知識が理解できる		1
学科	14	菊田 安池	(内燃機関)	(排気量 ポアストローク 出力 トルク 性能曲線 理論サイクル)		1
学科	15	菊田 安池	(内燃機関)	(燃料消費率 燃費モード 熱効率 仕事、仕事率)		1
学科	16	菊田 安池		エンジン性能 国家試験問題が解ける		1
学科	17	菊田 安池	【eテスト】	安全 70点以上合格		1
実習	1	菊田 安池	エンジン始動	作業安全+ガソリンの性質と取り扱いを理解する	32実	1
実習	2	菊田 安池	エンジン始動	点検・判定が正確にできる (エンジンオイルの量 冷却水の量 バッテリターミナルの緩み)		1
実習	3	菊田 安池	修理書の見方	一般作業の説明範囲 準備品 作業手順について理解を深める	32実	1
実習		菊田 安池		用語の定義 略語 SI単位について理解を深める		
実習		菊田 安池		標準ボルトナットについての理解を深める		
実習	4,5	菊田 安池	燃料装置	燃料装置の主要部品の名称・役目・実物が一致する	32実	2
実習	6,7	菊田 安池	安全作業	火気に関わる作業・燃料流出防止作業を理解し実践できる	32実	2
実習	8~10	菊田 安池	分解作業	修理書を使用し組み付け行程の事も考えた分解作業ができる	32実	3
実習	11	菊田 安池	構造研究	ポンプ フィルター パイプ ホース クリックカブラ各部品の構造を理解する	32実	1
実習	12	菊田 安池	構造研究	バルセーションダンパ プレッシュレギュレータ各部品の構造を理解する	32実	1
実習	13	菊田 安池	構造研究	デリバリアパイプ インジェクター ガasket各部品の構造を理解する	32実	1
実習	14~16	菊田 安池	組み付け作業	修理書を使用し正確な組み付け作業ができる	32実	3
実習	17	菊田 安池	締め付けトルク	適正な締め付けトルクで組み付けができる	32実	1
実習	18	菊田 安池	延長工具	延長工具を取り付けたトルク管理ができる	32実	1
実習	19	菊田 安池	始動装置	始動装置の概要について理解を深める	32実	1
実習	20	菊田 安池	圧力・負圧	インテークマニホールドに発生する圧力について理解を深める	32実	1
実習	21	菊田 安池	燃圧測定	負荷と回転数と燃料消費について理解を深める	32実	1
実習	22	菊田 安池	EFI構成	2級国家試験レベル(EFI)の構成部品について理解を深める	32実	1
実習	23	菊田 安池	確認試験	ペーパー問題		1
実習	24	菊田 安池	実技チェック	燃料流出防止作業【TEAM-GP チェックシート】	32実	1

2025年度

シャシ I -A シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年		
実施期	前期	定期試験時間	2
		教科時間計	45

シャシ I -A			
教員名 実務経験	中田 善之		鈴木 郁哉 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキの基本性能、ディスクブレーキについて学ぶ ・エア抜き作業、タイヤローテーションについて学ぶ ☆自動車販売店での整備経験者により整備士に必要なシャシの構造・作動・整備の知識を身につける 		
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキ基本性能、ディスクブレーキの構造・作動、ブレーキフルードの性質と取扱いについて答えることができる ・パスカルの原理(油圧計算)ができる ・ディスクブレーキの実物を確認し、名称や役目を答えることができる。また各種点検の実施、良否判定ができるように ・エア抜き作業について学ぶ 		
3.使用教科書、準備品	<ul style="list-style-type: none"> ・日整連 三級総合 ・トヨタサービス TEAM GP G4(導入・1STEP)、G3(2STEP) ・トヨタサービス技術テキスト 工具計測器整備機器編 		
4.授業時間	学科	12	実習 31
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている		
6.評価方法	学科→定期試験100点満点中40点 実技→定期試験100点満点中40点 実技チェック→100点満点中17点、レポート→100点満点中3点		

授業計画表(:シャシ I -A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	中田 鈴木	ブレーキの原理	ブレーキの概要、原理を説明できる	251	1
学科	2	中田 鈴木	ブレーキ基本性能	停止、空走、制動を説明できる	251	1
学科	3	中田 鈴木	ディスクブレーキ	特徴、キャリパとディスクロータの種類を答えられる	251	1
学科	4	中田 鈴木	ディスクブレーキ	作動、構造を答えることができる	251	1
学科	5	中田 鈴木	ブレーキフルード	性質、取扱い方法、保管方法や注意点を答えることができる	251	1
学科	6~8	中田 鈴木	まとめ	まとめ	251	3
学科	9	中田 鈴木	ブレーキ	確認プリント実施	251	1
学科	10~12	中田 鈴木	復習(確認試験)	後で調整	251	3
実習	1	中田 鈴木	ディスクブレーキ	自動調整機構の必要性、構造、作動について説明できる		1
実習	2	中田 鈴木	ブレーキトラブル	フェード現象、ベーパーロック現象、ブレーキノイズを説明できる		1
実習	3~4	中田 鈴木	ブレーキ概要	実物のブレーキ関連部品が理解でき、答えられる。	35	2
実習	5~6	中田 鈴木	ディスクブレーキ	キャリパの構造を理解し、取り外しができる	35	2
実習	7	中田 鈴木	ディスクブレーキ	フレキシブルホースの点検、良否判定ができる	35	1
実習	8~14	中田 鈴木	ディスクブレーキ	安全にパッドの脱着ができ、構造の理解、測定・良否判定ができる	35	7
実習	15	中田 鈴木	ディスクブレーキ	ディスクロータの振れ点検、良否判定ができる	35	1
実習	16~17	中田 鈴木	キャリパ	正しい分解組付けができる	35	2
実習	18~19	中田 鈴木	エア抜き作業	フルードの性質を知り、正しい作業方法を理解し、実施できる	35	2
実習	20	中田 鈴木	タイヤローテーション	FF、FRのローテーション方法や推奨距離の違いを理解し実施できる	35	1
実習	21~23	中田 鈴木	パッド交換作業	パッドの測定、交換作業を時間内にできる	35	3
実習	24~25	中田 鈴木	ブレーキトラブル	グループワークを通し、ブレーキの理解を深め、各項目を説明できる(含:確認試験)		2
実習	26	中田 鈴木	ディスクブレーキ	試験(eチェック)に合格できる	35	1
実習	27	中田 鈴木	ブレーキホース	試験(eチェック)に合格できる	35	1
実習	28	中田 鈴木	キャリパ	試験(eチェック)に合格できる	35	1
実習	29	中田 鈴木	タイヤローテーション	試験(eチェック)に合格できる	35	1
実習	30	中田 鈴木	定期点検	試験(eチェック)に合格できる	35	1
実習	31	中田 鈴木	まとめ	まとめ	35	1

2025年度

シャシ I-B シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年	
実施期	前期	定期試験時間 2 教科時間計 36

		シャシ I-B	
教員名 実務経験	小野田 貴文 自動車販売店	坂元 亮太	
1.授業概要と履修前提	ブレーキブースタ及び、マスターシリンダの構造・作動 ABSの概要 ☆自動車販売店での整備経験者によりシャシ整備を学ぶ		
2.教科の到達目標	ブレーキブースタの原理・名称および作動が説明できる。 ブレーキブースタ車上点検方法を理解する。 マスターシリンダの構成部品の名称および作動が説明できる。 ABSの概要的問題が解ける。		
3.使用教科書、準備品	二級、三級自動車整備士(総合)		
4.授業時間	学科	13	実習 21
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている		
6.評価方法	学科→定期試験100点満点中40点 実技→定期試験100点満点中40点 実技チェック→100点満点中17点、レポート→100点満点中3点		

授業計画表(:シャシ I-B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間	
学科	1	小野田(貴)	坂元	ブレーキブースター	ブレーキブースターの必要性、種類が答えられる。	244	1
学科	2	小野田(貴)	坂元		原理が説明できる。	244	1
学科	3~4	小野田(貴)	坂元		構造、作動が説明できる。	244	2
学科	5	小野田(貴)	坂元		保持作動(リアクション機構)が説明できる。	244	1
学科	6	小野田(貴)	坂元	マスターシリンダ	マスターシリンダの必要性、種類が答えられる。	244	1
学科	7	小野田(貴)	坂元		マスターシリンダの構造が説明できる。	244	1
学科	8	小野田(貴)	坂元		マスターシリンダの作動が説明できる。	244	1
学科	9	小野田(貴)	坂元	ABS	ABSの必要性、特徴が説明できる。	244	1
学科	10	小野田(貴)	坂元		EBD,ECBの概要が解る。	244	1
学科	11~12	小野田(貴)	坂元	まとめ	まとめ	244	2
学科	13	小野田(貴)	坂元	Eテスト	Eテスト得点率70%以上 G30030-T01	244	1
実習	1	小野田(貴)	坂元	ブレーキブースター	ブレーキブースターの各部名称が全て答えられる。(外観)	223	1
実習	2	小野田(貴)	坂元		分解手順が理解でき、分解作業が出来る。	223	1
実習	3	小野田(貴)	坂元		内部の各部名称および役目が答えられる。	223	1
実習	4	小野田(貴)	坂元		コントロールバルブの動きが説明できる。	223	1
実習	5	小野田(貴)	坂元		チェックバルブの作動が説明できる。	223	1
実習	6	小野田(貴)	坂元		組み付け作業が理解でき、組み付け作業ができる。	223	1
実習	7~9	小野田(貴)	坂元		ブレーキブースタ簡易点検がひとりで出来る。	34B	3
実習	10~12	小野田(貴)	坂元		ブレーキブースター不具合の現象確認と現象説明が出来る。	テストコース	3
実習	13	小野田(貴)	坂元	マスターシリンダ	マスターシリンダの必要性、種類が説明できる。	223	1
実習	14	小野田(貴)	坂元		マスターシリンダが分解できる。	223	1
実習	15,16	小野田(貴)	坂元		マスターシリンダの作動が説明できる。(通常時、故障時)	223	2
実習	17	小野田(貴)	坂元		マスターシリンダの各部の名称が答えられる。(外観)	223	1
実習	18	小野田(貴)	坂元		内部の各部名称および役目が答えられる。	223	1
実習	19	小野田(貴)	坂元		組み付け作業が理解でき、組み付け作業ができる。	223	1
実習	20	小野田(貴)	坂元	まとめ	まとめ	244	2

2025年度 自動車性能・力学 シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年	
実施期	前期	定期試験時間 1
		教科時間計 10

自動車性能・力学	
教員名	小野田 貴文
実務経験	自動車販売店
1.授業概要と履修前提	軸重計算(検査員数学)
2.教科の到達目標	国家試験問題(軸重計算)が解ける つり合いが理解でき、重心の位置が答えられる 用語が理解できる
3.使用教科書、準備品	二級自動車整備士(総合) 簡易電卓
4.授業時間	学科 9 実習 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (○)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
6.評価方法	定期試験100点

授業計画表(学科:力学(検査員数学))

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間	
学科	1	小野田(貴)	坂元	つり合いの条件	モーメントの理論が説明できる	244	1
学科	2~3	小野田(貴)	坂元	重心	荷重分布、軸重の求め方が答えられる	244	2
学科	4	小野田(貴)	坂元	軸重計算	検査員数学の専門用語が答えられる	244	1
学科	5	小野田(貴)	坂元	軸重計算	諸元表が読める	244	1
学科	6	小野田(貴)	坂元	軸重計算	軸重計算が解ける	244	1
学科	7~8	小野田(貴)	坂元	軸重計算	軸重計算が解ける(レッカー問題)	244	2
学科	9	小野田(貴)	坂元	まとめ	まとめ	244	1

2025年度

シャシ I-C シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 2

実施期 前期

教科時間計 45

		シャシ I-C	
教員名 実務経験	本間 滉太郎	大橋 信夫	
	自動車販売店		
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> ・クラッチとトランスミッションについて学ぶ ・基礎的な工作作業について学ぶ 		
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クラッチの部品名称、構造、作動、不具合について答えることができる ・クラッチ、トランスミッションの実物を確認し、名称や役目を答えることができる ・トランスミッションの部品名称、構造、作動、不具合について答えることができる ・各種点検の実施、良否判定ができるようになる 		
3.使用教科書、準備品	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車整備技術 シャシ1 ・日整連 2級自動車整備士(総合) 3級自動車整備士(総合) ・トヨタサービス技術テキスト TEAM GP G4(導入・1STEP),G3(2STEP),工具計測器整備機器編 		
4.授業時間	学科	14	実習 29
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている		
6.評価方法	●100点満点中40点分を学科の定期試験で評価 ●TEAM-GPのeテスト:70%以上 定期試験の内容・・・シャシC		

授業計画表(:シャシ I-C)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	本間 大橋	クラッチ	目的、必要条件、種類が理解できる	238	1
学科	2	本間 大橋	クラッチ	ダイヤフラム式の構造、作動が理解できる	238	1
学科	3	本間 大橋	クラッチ	クラッチの構成部品が理解できる	238	1
学科	4	本間 大橋	クラッチ	コイルスプリング式の構造・作動が理解できる	238	1
学科	5	本間 大橋	トランスミッション	必要性が理解できる	238	1
学科	6	本間 大橋	トランスミッション	ギヤ比(変速比)が理解でき、計算ができる	238	1
学科	7.8	本間 大橋	トランスミッション	種類、基本構造、シンクロ作動が理解できる	238	2
学科	9	本間 大橋	動力伝達装置	(erラーニング実施し テスト:ドライブトレイン1)が合格できる	238	1
学科	10	本間 大橋	クラッチ	試験(eテスト)が合格できる G41014-T01	238	1
学科	11	本間 大橋	トランスミッション	試験(eテスト)が合格できる G30021-T01	238	1
学科	12	本間 大橋	トランスミッション	試験(eテスト:ドライブトレイン2)が合格できる G30021-T02	238	1
学科	13	本間 大橋	まとめ	まとめ	238	1
学科	14	本間 大橋	まとめ	まとめ	238	1
実習	1	本間 大橋	基本作業	修理書の見方が理解できる	211	1
実習	2	本間 大橋	クラッチ	構造(全体)が理解でき、分解作業の注意点が理解できる	211	1
実習	3	本間 大橋	クラッチ	構造(単体)が理解でき、部品点検の注意点が理解でき、作業ができる	211	1
実習	4~6	本間 大橋	クラッチ	組付作業の注意点が理解できる	211	3
実習	7.8	本間 大橋	クラッチ	操作系統の構造(部品)、特徴が理解できる	211	2
実習	9.10	本間 大橋	クラッチ	操作系統の点検の注意点が理解でき、作業ができる	211	2
実習	11	本間 大橋	トランスミッション	ケース外側についている部品の特徴、点検作業が理解できる	211	1
実習	12.13	本間 大橋	トランスミッション	ギヤ関連の構造(部品)が理解できる	211	2
実習	14	本間 大橋	トランスミッション	点検(ブレーキ作用、スラストすき間)の注意点が理解でき、作業ができる	211	1
実習	15.16	本間 大橋	トランスミッション	シンクロ機構の構造(部品)、作動が理解できる	211	2
実習	17.18	本間 大橋	トランスミッション	操作機構の構造・作動が理解できる	211	2
実習	19.20	本間 大橋	トランスミッション	誤作動防止装置の各種作動、特徴が理解できる	211	2
実習	21.22	本間 大橋	トランスミッション		211	2
実習	23.24	本間 大橋	トランスミッション	車両走行を通して、不具合現象を体感・発見できる	周回路	2
実習	25.26	本間 大橋	クラッチ・トランスミッション	GWTを通して、車両装置の不具合が理解できる	211	2
実習	27.28		まとめ	まとめ	211	2
実習	29		復習	復習	211	1

2025年度

電気装置 I-A シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 2

実施期

前期

教科時間計

38

電気装置 I-A

教員名 実務経験	佐々木 健太	友山 昌樹 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> ・メータの検出部と表示部の構造・作動を学ぶ ・各メータの単体点検、並びに車両からの脱着を行う。 ・バッテリーの構造、化学変化を学ぶ。バッテリーの各種点検、並びに車両からの脱着を行う。 ・配線図を用いて様々なコネクタや部品を探す。 	
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各メータの構造・作動を説明できる。各メータの単体点検ができ、良否判定ができる。 ・バッテリーの構造、化学変化、及び、諸特性を説明できる ・バッテリーの各種点検ができ、良否判定ができる ・指示されたコネクタの場所を特定できる 	
3.使用教科書、準備品	整備振興会 2級総合 整備振興会 3級総合 トヨタサービス TEAM GP G4(導入編・1STEP)G3(2STEP)	
4.授業時間	学科 8	実習 28
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	定期試験 配分(学科ペーパー50点 実技ペーパー35点 実技チェック10点 レポート5点)	

授業計画表(:電気装置 I-A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	佐々木 友山	コンビネーションメータ	運転席の各メータの役目及び、各警告灯の役目が説明できる。	247	1
学科	2	佐々木 友山	表示部、HUD、MID	各表示部の作動を説明できる。HUD、MIDの役目が説明できる	247	1
学科	3	佐々木 友山	検出部	各検出部の作動が説明できる。	247	1
学科	4	佐々木 友山	バッテリー概要	バッテリー内部の名称や役目を説明することができる。	247	1
学科	5	佐々木 友山	充放電反応	内部で起きている化学反応について説明することができる。	247	1
学科	6	佐々木 友山	特性	起電力、比重、容量などの関係性を説明することができる。	247	1
学科	7	佐々木 友山	eテスト	eテスト(バッテリー、メータ)に合格できる	247	1
学科	8	佐々木 友山		確認質問	247	1
実習	1-2	佐々木 友山	点検(検出部)	検出部の点検ができ、その結果から良否判定ができる。	245	2
実習	3-4	佐々木 友山	点検(表示部)	表示部の点検ができ、その結果から良否判定ができる。	245	2
実習	5-6	佐々木 友山	メータ脱着	内装の保護を意識しつつ、メータの脱着をすることができる。	35B	2
実習	7	佐々木 友山	バッテリー種類	サイズ、各記号、種類が理解できる	35B	1
実習	8-9	佐々木 友山	バッテリー諸特性	容量、起電力、比重、放電率、充電電流等が理解できる	247	2
実習	10-11	佐々木 友山	バッテリー各点検	液量、比重、起電力、内部抵抗等が理解できる	247	2
実習	12-13	佐々木 友山	充電作業	充電器の使用方法が理解でき、バッテリーの充電ができる	247	2
実習	14-15	佐々木 友山	充電器	充電方法、種類、注意事項、接続方法を説明できる	35B	2
実習	16-17	佐々木 友山	バッテリー脱着	車両のバッテリーの交換ができ、各種設定ができる	35B	2
実習	18-19	佐々木 友山	チェックシート	eチェック(バッテリー車両脱着、充電作業)が合格できる	35B	2
実習	20-21	佐々木 友山	配線図の見方	配線図集の構成、読み方、意味等が理解できる	247	2
実習	22-25	佐々木 友山	配線図の読み取り	車両にて配線図を活用に、課題を解くことができる	35B	4
実習	26-27	佐々木 友山	平常チェック	車両にて配線図を活用に、課題を解くことができる	35B	2
実習	28	佐々木 友山		確認質問	247	1

2025年度 自動車材料・環境 シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年	
実施期	前期	定期試験時間 1
		教科時間計 8

環境保全	
教員名	佐々木 健太 友山 昌樹
実務経験	自動車販売店
1.授業概要と履修前提	自動車と環境の関係性について学ぶ
2.教科の到達目標	自動車が環境に与える影響について説明することができる。 整備時に出る各種廃棄物の正しい処理方法を答えることができる。
3.使用教科書、準備品	配布資料
4.授業時間	学科 7 実習 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
6.評価方法	●定期試験 100% ※自動車材料と合同 ・定期試験…環境保全(50%)と自動車材料(50%)で合算

授業計画表(:環境保全)							
実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間	
学科	1~2	佐々木 友山	環境概要	自動車と環境の関係性を理解する。	247	2	
学科	3	佐々木 友山	環境問題への取り組み	トヨタの環境問題に対する取り組みを理解する。	247	1	
学科	4~5	佐々木 友山	整備工場の取り組み	整備車両から出る廃棄物の処理方法を理解する。	247	2	
学科	6	佐々木 友山	環境の法律	自動車と環境に関する関係法令を理解する。	247	1	
学科	7	佐々木 友山	環境の法律	自動車と環境に関する関係法令を理解できる。	247	1	

2025年度

電気装置 I-B シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 2

実施期

前期

教科時間計

37

電気装置 I-B

教員名 実務経験	西谷 孝也	加藤 安昭
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> ・磁気の基礎を理解したうえで、モータの原理を理解する ・スタータの各機構について構造・作動・必要性を学ぶ ・スタータ交換作業を行う ・スタータ内部構造を理解し、各種点検を行う 	
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電流と磁界の関係を理解し、フレミングの法則の理解につなげる ・スタータの各機構について必要性・作動を説明できる。スタータの回路作動を説明できる。 ・安全・確実にスタータの交換作業を行える。 ・スタータの各種点検要領を理解し、測定値から良否の判定が行えると共に、起因故障を理解する 	
3.使用教科書、準備品	整備振興会 二級自動車整備士(総合) 整備振興会 三級自動車整備士(総合)	
4.授業時間	学科 8	実習 27
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	学科定期試験: 45% 実習定期試験: 40% 技術チェック10% + レポート5%	

授業計画表(: 電気装置 I-B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	西谷 加藤	スタータ概要	スタータの必要性を理解する。		1
学科	2	西谷 加藤	磁気の基礎と電流	磁気と電流に関する法則を理解する。		1
学科	3	西谷 加藤	モータの原理・特性	回転する仕組み、構造、及び、特性が理解できる		1
学科	4	西谷 加藤	種類(ISS)	ISS(アイトリングストックシステム)の構造を理解できる		1
学科	5	西谷 加藤	逆起電力	逆起電力の発生、大きさについて理解できる		1
学科	6	西谷 加藤	eテスト	eテスト(エレトリカルテスト)に合格できる		1
学科	7	西谷 加藤	確認試験	確認試験(学科、及び、実技ペーパー)が解ける		1
学科	8	西谷 加藤	復習	授業内容で解らない内容が無い		1
実習	1-3	西谷 加藤	車両脱着	車両からスタータの脱着ができる(含:車両取扱)		3
実習	4	西谷 加藤	外観構造研究(R型)	R型スタータの構造の特徴について説明できる。		1
実習	5-6	西谷 加藤	作動・種類	回路図での電気の流れが理解でき、構造上の種類がわかる		2
実習	7	西谷 加藤	分解(R型)	修理書の手順に従い、分解できる		1
実習	8-9	西谷 加藤	構造研究(R型:単体)	アーマチュア、ヨーク、ブラシAssyの特徴が分かり、単体点検ができる		2
実習	10-11	西谷 加藤	構造研究(R型:単体)	減速機構、マグネットスイッチの特徴が分かり、単体点検ができる		2
実習	12	西谷 加藤	組付(R型)	修理書の手順に従い、組付けできる		1
実習	13-14	西谷 加藤	単体点検(R型)	吸引・保持・戻り、及び、無負荷の各試験ができる		2
実習	15	西谷 加藤	外観構造研究	P型スタータの構造の特徴について説明できる。		1
実習	16	西谷 加藤	分解(P型)	修理書の手順に従い、分解できる		1
実習	17-18	西谷 加藤	構造研究(P型:単体)	ブラネタリギヤの構造、ギヤ比の求め方が理解できる		2
実習	19	西谷 加藤	構造研究(P型:単体)	緩衝装置の構造、作動が理解できる		1
実習	20	西谷 加藤	組付(P型)	修理書の手順に従い、組付けできる		1
実習	21	西谷 加藤	単体点検(P型)	吸引・保持・戻り、及び、無負荷の各試験ができる		1
実習	22	西谷 加藤	モータの損失	モータに発生する損失が理解できる		1
実習	23	西谷 加藤	出力特性図	グラフ(表)の読取ができ、出力、逆起電力等の関連が理解できる		1
実習	24-25	西谷 加藤	復習	単体点検がスムーズに流せて、良否判定ができる		2
実習	26	西谷 加藤	平常技術チェック	単体点検(吸引、保持、戻り、無負荷)に合格できる		1
実習	27	西谷 加藤	eテスト			1

2025年度 自動車材料・環境 シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年	
実施期	前期	定期試験時間 1
		教科時間計 9

自動車材料	
教員名 実務経験	西谷 孝也 加藤 安昭
1.授業概要と履修前提	自動車に使用される各種材料、材質、特性について学ぶ
2.教科の到達目標	各種材料、材質、特性について説明できる
3.使用教科書、準備品	
4.授業時間	学科 8 実習 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
6.評価方法	●定期試験 100% ※自動車材料と合同 ・定期試験…環境保全(50%)と自動車材料(50%)で合算

授業計画表(:環境保全)							
実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間	
学科	1~2	西谷 加藤	鉄鋼	鋳鉄と鋼の違い、特殊鋼、及び、熱処理等が理解できる		2	
学科	3~5	西谷 加藤	非鉄金属	各非鉄金属の特徴、各合金、及び、使用箇所が理解できる		3	
学科	6	西谷 加藤	非鉄金属	焼結合金の特徴が理解できる		1	
学科	7	西谷 加藤	非金属	非金属の種類、特徴が理解できる		1	
学科	8	西谷 加藤	確認試験	確認試験が解ける		1	

2025年度

電気措置 I-C シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 2

実施期 前期

教科時間計 36

電気措置 I-C

教員名 実務経験	大橋 登 自動車メーカー	小野田 皓基
1.授業概要と履修前提	オームの法則実験回路を用いて電圧予測および測定。 半導体、オシロスコープを使って電気の基礎を学ぶ。 ダイオードを使った整流回路の作動を学ぶ。 オシロスコープの波形観測および読み取りが出来る。	
2.教科の到達目標	半導体の名称、作動が説明できる。 オームの法則を使った国家試験問題が解ける。 電気回路トラブル(断線・ショート)時の電圧・電流求められる。 半波・全波回路の作動が説明できる。	
3.使用教科書、準備品	三級自動車整備士 総合 二級自動車整備士 総合 トヨタサービス TEAM GP G4(1STEP)及びG3(2STEP) ニッパ、ニードルノーズプライヤ	
4.授業時間	学科 10	実習 24
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	●100点満点中45点分を学科の定期試験で評価 ●100満点中40点分を実技の定期試験で 12点分を授業で行う技術チェックで、3点分をレポートで評価	

授業計画表(:電気措置 I-C)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1-3	大橋 小野田	電気の基礎	オームの法則、電力の問題が解ける。		3
学科	4	大橋 小野田	半導体の基礎	半導体の種類が答えられる。		1
学科	5	大橋 小野田	ダイオード	記号、端子名、作動が説明できる。		1
学科	6	大橋 小野田		V-I特性図で順方向立ち上がり電圧の内容が説明できる。		1
学科	7-9	大橋 小野田	整流回路	半波・全波整流回路作動が説明できる。		3
学科	10	大橋 小野田	確認試験			1
実習	1-2	大橋 小野田	ABCランプ	電圧・電流・抵抗・電力の計算ができる	255	2
実習	3-8	大橋 小野田		正常時と異常時の実測が正しくできる	255	6
実習	9	大橋 小野田	オシロスコープ	各部名称と役目が説明できる。	255	1
実習	10	大橋 小野田		校正作業の意味を説明できる。	255	1
実習	11	大橋 小野田		電圧、周期の計算が解ける。	255	1
実習	12	大橋 小野田		周波数の計算が解ける。	255	1
実習	13	大橋 小野田	整流回路	ダイオードの特徴、作動が説明できる	255	1
実習	14	大橋 小野田		LEDの特徴、作動が説明できる。	255	1
実習	15	大橋 小野田		コンデンサーの特徴、作動が説明できる。	255	1
実習	16	大橋 小野田		半波整流回路基盤を製作し完成出来ている。	255	1
実習	17-19	大橋 小野田		全波整流回路基盤を製作し完成出来ている。	255	3
実習	20-21	大橋 小野田		半波整流回路の波形観測、電圧測定および作動説明が出来る。	255	2
実習	22-23	大橋 小野田		全波整流回路の波形観測、電圧測定および作動説明が出来る。	255	2
実習	24	大橋 小野田		チェックシート(Team-GP)得点率70%以上	255	1

2025年度 機械要素・製図 シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年		
実施期	前期	定期試験時間	1
		教科時間計	10

機械要素・製図			
教員名	大橋 登		小野田 皓基
実務経験	自動車メーカー		
1.授業概要と履修前提	ねじ、ベアリング等の基礎的な構造および名称を学ぶ		
2.教科の到達目標	部品の各部名称、用途が説明できる ベアリングの使用目的、種類が説明できる スプリング、ギヤの使用目的、種類が説明できる		
3.使用教科書、準備品	三級自動車整備士 総合		
4.授業時間	学科	9	実習 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (○)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている		
6.評価方法	定期試験100%		

授業計画表(学科:機械要素)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	大橋 小野田	ボルト・ナット	ボルト・ナットの各部名称が説明できる		1
学科	2	大橋 小野田	ねじとねじ部品	呼び径、ピッチ、リード、一条ねじ、多条ねじ、ボルトナットの種類が説明できる		1
学科	3	大橋 小野田				1
学科	4	大橋 小野田		ビス、ねじのゆるみ止め、ヘリサートの使用用途が説明できる		1
学科	5	大橋 小野田	ベアリング	概要及び各ベアリングの種類、構造、使用用途が説明できる		1
学科	6	大橋 小野田	バネ、ギヤ	ギヤ各部名称、種類、歯形曲線の説明ができる		1
学科	7	大橋 小野田	シール、ベルト	漏れ防止装置(シール)、動力伝達用ベルトおよびチェーンの種類、構造が説明できる		1
学科	8	大橋 小野田				1
学科	9	大橋 小野田	確認試験	平常試験得点率60%以上		1

2025年度

エンジン I -A シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 2

実施期 後期

教科時間計 43

		エンジン I -A		
教員名 実務経験		定行 智	足立 拓 自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	ガソリンエンジン概要 仕組み エンジン本体 分解作業・構造確認 修理書の見方 工具取り扱い 習熟			
2.教科の到達目標	ガソリンエンジン概要を理解し説明できる エンジン本体について理解し説明でき、国家試験が解ける 各装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる 工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる			
3.使用教科書、準備品	・タブレット ・工具 ・保護具 ・ウエス 二級自動車整備士(総合) 三級自動車整備士(総合) 自動車整備技術 エンジン編			
4.授業時間	学科	11	実習	30
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	学科→定期試験100点満点中45点 実技→定期試験100点満点中40点 実技チェック→100点満点中10点、レポート→100点満点中5点			

授業計画表(:エンジン I -A)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1,2	定行	足立	エンジン構造	シリンダブロックの構造や種類を理解する		2
学科	3,4	定行	足立	エンジン構造	ピストンの構造や種類を理解する		2
学科	5,6	定行	足立	エンジン構造	ピストンリングの構造や種類を理解する		2
学科	7	定行	足立	エンジン構造	コンロッドの構造を理解する		1
学科	8,9	定行	足立	エンジン構造	ベアリングメタルの種類・性質や特性を理解する		2
学科	10	定行	足立	エンジン構造	クランクシャフトの構造を理解する		1
学科	11	定行	足立	エンジン構造	フライホイール・クランクプーリーの構造を理解する		1
実習	1	定行	足立	オーバーホールについて	「オーバーホール」について STEP2p50～55	32実	1
実習	2,3	定行	足立	オーバーホール	オーバーホールを通してエンジン構造や工具の使い方を習熟する	32実	2
実習	4	定行	足立	オーバーホール	燃料流出防止作業 Fクイックコネクター 冷却水抜き	32実	1
実習	5	定行	足立	オーバーホール	吸気系統、ハーネス 冷却水系統 電装系統取り外し	32実	1
実習	6	定行	足立	オーバーホール	吸気系統 排気系統 センサー系統 ファンベルト関係取り外し	32実	1
実習	7	定行	足立	オーバーホール	シリンダヘッドカバーassy クラッチハウジング フライホイール取り外し	32実	1
実習	8	定行	足立	オーバーホール	圧縮上死点セット、クランクプーリー取り外し	32実	1
実習	9	定行	足立	オーバーホール	オイルパン タイミングチェーンカバー取り外し	32実	1
実習	10	定行	足立	オーバーホール	タイミングチェーン機構	32実	1
実習	11	定行	足立	オーバーホール	カムシャフト取り外し 動弁機構	32実	1
実習	12	定行	足立	オーバーホール	シリンダヘッド、ヘッドガスケット	32実	1
実習	13,14	定行	足立	オーバーホール	ピストン クランクシャフト取り外し	32実	2
実習	15～19	定行	足立	エンジン本体	構造研究をとおして構造を理解する	32実	5
実習	20,21	定行	足立	点検	構造研究 オイルポンプ点検	32実	2
実習	22	定行	足立	点検	構造研究 ラッシュアジャスタ点検	32実	1
実習	23,24	定行	足立	チェックシート	ピストンリング脱着 練習	32実	2
実習	25,26	定行	足立	チェックシート	ピストンリング脱着【G38002】70点以上	32実	2
実習	27,28	定行	足立	チェックシート	ピストン脱着 練習	32実	2
実習	29,30	定行	足立	チェックシート	ピストン脱着【G38002】70点以上	32実	2

2025年度

エンジン I-B シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 2

実施期 後期

教科時間計 43

エンジン I-B

教員名 実務経験	菊田 直樹 自動車メーカー	安池 孝夫
1.授業概要と履修前提	内燃機関、ガソリンエンジン概要 仕組み 潤滑装置 エンジン本体 組付け作業・点検 修理書の見方、工具取り扱い 習熟	
2.教科の到達目標	ガソリンエンジン概要を理解し説明できる 内燃機関、潤滑装置について理解し説明でき、国家試験が解ける 各装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる 工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる	
3.使用教科書、準備品	・タブレット ・工具 ・保護具 ・ウエス 二級自動車整備士(総合) 三級自動車整備士(総合) 自動車整備技術 エンジン編	
4.授業時間	学科 14	実習 27
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	学科→定期試験100点満点中45点 実技→定期試験100点満点中40点 実技チェック→100点満点中10点、レポート→100点満点中5点	

授業計画表(:エンジン I-B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	菊田 安池	潤滑装置	ろ過方式、フィルターの構造を理解する		1
学科	2	菊田 安池	潤滑装置	ポンプ各種の構造を理解する		1
学科	3	菊田 安池	潤滑装置	各種バルブの構造を理解する		1
学科	4	菊田 安池	潤滑装置	油路等の構造を理解する		1
学科	5	菊田 安池	潤滑装置	油脂の知識を身につける		1
学科	6	菊田 安池	内燃	「熱・温度・仕事・エネルギー」について理解する		1
学科	7.8	菊田 安池	内燃	「排気量・圧縮比・平均ピストンスピード」を求めることができる		2
学科	9	菊田 安池	内燃	「平均有効圧力・諸損失」について理解する		1
学科	10.11	菊田 安池	内燃	「バルブタイミング」について理解する		2
学科	12	菊田 安池	eテスト	エンジンメカニカル1【G30008-T03】 70点以上合格 エンジンメカニカル5【G30008-T07】 70点以上合格 ガソリンエンジン1【G41004-T01】 70点以上合格		1
学科	13	菊田 安池	確認試験	試験1(エンジン本体・潤滑装置)		1
学科	14	菊田 安池	確認試験	試験2(内燃機関)		1
実習	1	菊田 安池	オーバーホール	オーバーホールを通してエンジン構造や工具の使い方を習熟する	32実	1
実習	2.3	菊田 安池	オーバーホール	塑性域締め付け法 ボルト点検 ノギスの使い方	32実	2
実習	4.5	菊田 安池	オーバーホール	ピストンリング ベアリングメタル取り付け	32実	2
実習	6.7	菊田 安池	オーバーホール	クランクシャフト ベアリングメタル取り付け	32実	2
実習	8.9	菊田 安池	オーバーホール	シリンダヘッドガスケット シリンダヘッド取り付け	32実	2
実習	10.11	菊田 安池	オーバーホール	動弁機構*3	32実	2
実習	12.13	菊田 安池	オーバーホール	カムシャフト取り付け バルブタイミング タイミングチェーン	32実	2
実習	14.15	菊田 安池	オーバーホール	タイミングチェーンケースカバー取り付け*2	32実	2
実習	16.17	菊田 安池	オーバーホール	オイルパン取り付け *4	32実	2
実習	18.19	菊田 安池	オーバーホール	クランクブリー取り付けフライホイール取り付け *5	32実	2
実習	20.21	菊田 安池	オーバーホール	吸気 排気 冷却 補記類取り付け	32実	2
実習	22.23	菊田 安池	エンジン始動	安全作業の習熟 完成点検含む(各種漏れ点検)	32実	2
実習	24~26	菊田 安池	点検	圧縮圧力点検	32実	3
実習	27	菊田 安池	確認試験	実習全般		1

2025年度

シャシ I-A シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年		
実施期	後期	定期試験時間	2
		教科時間計	36

シャシ I-A				
教員名 実務経験	中田 善之		鈴木 郁哉 自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラムブレーキについて学ぶ ・エア抜きについて学ぶ ☆自動車販売店での整備経験者によりシャシ整備を学ぶ			
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラムブレーキの構造、作動、種類について答えることができる ・パーキングブレーキの作動について答えることができる ・ドラムブレーキの実物を確認し、名称や役目を答えることができる ・各種点検の実施、良否判定、調整作業ができる。エア抜き作業ができる。 			
3.使用教科書、準備品	日整連 三級総合 ・トヨタサービス TEAM GP G4(導入・1STEP)、及び、G3(2STEP) ・トヨタサービス技術テキスト 工具計測器整備機器編			
4.授業時間	学科	8	実習	26
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	学科→定期試験100点満点中40点 実技→定期試験100点満点中40点 実技チェック→100点満点中17点、レポート→100点満点中3点			

授業計画表(:シャシ I-A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	中田 鈴木	ブレーキ	概要、種類(主、補助、駐車ブレーキ)を答えられる		1
学科	2	中田 鈴木	ドラムブレーキ	構造、作動原理を理解し、説明できる		1
学科	3	中田 鈴木	自動調整機構	必要性、構造を理解し、説明できる		1
学科	4	中田 鈴木	ドラムブレーキ	各種の名称・特徴・図を理解し、説明できる		1
学科	5	中田 鈴木	ドラムブレーキ	パーキングブレーキの構造、作動を説明できる		1
学科	6	中田 鈴木	ブレーキ	試験(eテスト)に合格できる		1
学科	7	中田 鈴木	足回り①、②	試験(eテスト)に合格できる		1
学科	8	中田 鈴木	まとめ	まとめ		1
実習	1~3	中田 鈴木	ドラムブレーキ	座学の内容を実物で確認し、説明できる	35	3
実習	4~5	中田 鈴木	パーキングブレーキ	座学の内容を実物で確認し、説明できる	35	2
実習	6	中田 鈴木	ドラムブレーキ	正しい手順で分解ができる	35	1
実習	7	中田 鈴木	ドラムブレーキ	ブレーキシューの交換作業ができる(Cワッシャ脱着含む)	35	1
実習	8	中田 鈴木	ホイールシリンダ	ピストンカップを傷つけず、交換できる	35	1
実習	9~10	中田 鈴木	ドラムブレーキ	グリスの特徴を理解し、正しい組付け作業ができる	35	2
実習	11~14	中田 鈴木	ドラムブレーキ	分解組付け作業を時間内にできる(清掃、グリスアップ含む)	35	4
実習	15~18	中田 鈴木	調整作業	ブレーキシューとドラムのすき間調整をサービスホールからできる	35	4
実習	19~20	中田 鈴木	エア抜き作業	正しいエア抜き作業ができる	35	2
実習	21	中田 鈴木	ブレーキペダル	3つの点検の名称、方法、良否判定、調整または交換部品がわかる	35	1
実習	22	中田 鈴木	ドラムブレーキ	試験(eチェック)に合格できる	35	1
実習	23	中田 鈴木	ホイールシリンダ	試験(eチェック)に合格できる	35	1
実習	24	中田 鈴木	パーキングブレーキ	試験(eチェック)に合格できる	35	1
実習	25	中田 鈴木	定期点検	試験(eチェック:定期点検)に合格できる	35	1
実習	26	中田 鈴木	まとめ	まとめ	35	1

2025年度 自動車性能・力学 シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年		
実施期	後期	定期試験時間	1
		教科時間計	9

自動車性能・力学					
教員名 実務経験	中田 善之 鈴木 郁哉				
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の諸元について学ぶ ・自動車性能について学ぶ 				
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の基礎用語、寸法用語について答えることができる ・動力性能の計算ができる ・性能線図を読み取ることができる 				
3.使用教科書、準備品	<ul style="list-style-type: none"> ・日整連 二級総合 ・電卓(関数電卓 不可) 				
4.授業時間	<table border="1"> <tr> <td>学科</td> <td>8</td> <td>実習</td> <td>0</td> </tr> </table>	学科	8	実習	0
学科	8	実習	0		
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている				
6.評価方法	●定期試験100%				

授業計画表(学科:自動車性能)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	中田 鈴木	自動車の諸元	自動車の諸元、各部名称が理解できる		1
学科	2	中田 鈴木	走行抵抗	走行抵抗の種類が分かり、計算ができる		1
学科	3~4	中田 鈴木	速度変換、加速度	各種の計算ができる		2
学科	5~6	中田 鈴木	平均速度、走行距離	各種の計算ができる		2
学科	7~8	中田 鈴木	駆動力、トルク、出力	各種の計算ができる		2

2025年度

シャシ I-B シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年		
実施期	後期	定期試験時間	2
		教科時間計	45

シャシ I-B			
教員名 実務経験	小野田 貴文 自動車販売店		坂元 亮太
1.授業概要と履修前提	サスペンションの構造について学ぶ。 車両からのサスペンション脱着 単体サスペンションを使用し、分組及び構造研究。 ☆自動車販売店での整備経験者により、上記実践技能を学ぶ		
2.教科の到達目標	サスペンション形式やスプリングの種類、特徴が説明できる。 ショックアブソーバの構造、作動が説明できる。 サスペンションの脱着ができる。(フロント) フロントアクスルの構成部品が説明できる。		
3.使用教科書、準備品	TEAM-GP 技術テキスト 1STEP、2STEP 二級、三級自動車整備士(総合) 自動車整備技術 シャシ2		
4.授業時間	学科	20	実習
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている		
6.評価方法	学科→定期試験100点満点中40点 実技→定期試験100点満点中40点 実技チェック→100点満点中17点、レポート→100点満点中3点		

授業計画表(:シャシ I-B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	小野田(貴) 坂元	サスペンション(概要)	サスペンションの役割が説明できる。	244	1
学科	2~3	小野田(貴) 坂元		サスペンションの構成が説明できる。	244	2
学科	4	小野田(貴) 坂元	スプリング	車軸懸架式、独立懸架式の分類と違いが説明できる。	244	1
学科	5	小野田(貴) 坂元		リーフスプリングの名称、役目、特徴が説明できる。	244	1
学科	6	小野田(貴) 坂元		コイルスプリングの名称、役目、特徴が説明できる。	244	1
学科	7	小野田(貴) 坂元		トーションバースプリング、エアスプリングの名称、役目、特徴が説明できる。	244	1
学科	8	小野田(貴) 坂元		金属バネとエアスプリングの特徴、違いが説明できる。	244	1
学科	9	小野田(貴) 坂元	ショックアブソーバ	モノチューブ、ツインチューブの役目、名称、特徴が説明できる。	244	1
学科	10	小野田(貴) 坂元		モノチューブの作動が説明できる。	244	1
学科	11	小野田(貴) 坂元		ツインチューブの作動が説明できる。	244	1
学科	12	小野田(貴) 坂元	スタビライザー	名称、役目、特徴が説明できる。	244	1
学科	13	小野田(貴) 坂元	サスペンション	車軸懸架式の構造が説明できる。(平行リーフ、コイル式)	244	1
学科	14	小野田(貴) 坂元	(フロントサスペンション)	独立懸架式の構造が説明できる。(ストラット式、ウィッシュボーン式)	244	1
学科	15	小野田(貴) 坂元	サスペンション	車軸、独立懸架式の構造の説明が出来る。(トーションビーム、マルチリンク)	244	1
学科	16	小野田(貴) 坂元	電子制御サスペンション	概要、特徴が説明できる。	244	1
学科	17	小野田(貴) 坂元		AVSのシステムが説明できる。	244	1
学科	18	小野田(貴) 坂元	まとめ	まとめ	244	2
学科	19	小野田(貴) 坂元	Eテスト	Eテスト得点率70%以上 G41017-T02(後半T01も行う)、G30025-T01	244	1
実習	1	小野田(貴) 坂元	取り外し作業 構造研究	KYT	34B	1
実習	2~9			ブレーキ、アクスルハブを含むショックアブソーバ脱着ができる。	34B	8
実習	10.11			ショックアブソーバ、スプリング、ロアアーム、アクスルハブ、ボールジョイント、スプリングの構成部品名称及び作動が答えられる。	34B	2
実習	12~15		コイルスプリング脱着	コイルスプリングの脱着作業ができる。(習熟練習)	34B	4
実習	16~18		体感走行	アブソーバ不具合現象が走りで分かる。	34B	3
実習	19~21		平常チェック	コイルスプリングの脱着作業が時間内に一人でできる。得点率60%以上	34B	3
実習	22		まとめ	まとめ	244	2

2025年度

シャシ I -C シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 2

実施期 後期

教科時間計 45

		シャシ I -C	
教員名 実務経験	本間 滉太郎 自動車販売店	大橋 信夫	
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> ・ディファレンシャルについて学ぶ ・タイヤ、ホイール、グリスについて学ぶ 		
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ディファレンシャルの必要性、役目、歯車の種類について答えることができる ・ディファレンシャルの実物を確認し、名称や役目を答えることができる ・タイヤ、ホイールの構造、各部名称、トラブルについて答えることができる ・各種点検の実施、良否判定、調整作業ができる 		
3.使用教科書、準備品	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車整備技術 シャシ1 ・トヨタサービス TEAM GP G4(導入編・1STEP)及びG3(2STEP) ・日整連 2級自動車整備士(総合) 3級自動車整備士(総合) 		
4.授業時間	学科	11	実習 32
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている		
6.評価方法	●100点満点中40点分を学科の定期試験で評価 ●TEAM-GPのeテスト:70%以上 定期試験の内容・・・シャシC		

授業計画表(:シャシ I -CA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	
学科	1	本間 大橋	ディファレンシャル	概要、基本構造が理解できる	238	1
学科	2	本間 大橋	ディファレンシャル	ギヤ比、動力伝達順序、作動の動きが理解できる	238	1
学科	3	本間 大橋	タイヤホイール	概要、各部名称、各サイズ(呼び)、品質保証が理解できる	238	1
学科	4	本間 大橋	タイヤホイール	各部名称、構造、サイズ(呼び)が理解できる	238	1
学科	5	本間 大橋	タイヤホイール	種類、トレッドパターン、各諸元が理解できる	238	1
学科	6	本間 大橋	タイヤホイール	種類(デンパタイヤ、冬タイヤ)が理解できる	238	1
学科	7	本間 大橋	タイヤホイール	不具合(振動、騒音、偏摩耗、発熱、各現象)が理解できる	238	1
学科	8	本間 大橋	タイヤホイール	現物を確認し、タイヤ・ホイールの理解度を深めることができる	238	1
学科	9	本間 大橋	グリス	グリスの特徴が理解できる	238	1
学科	10,11	本間 大橋	まとめ	まとめ	238	2
実習	1.2	本間 大橋	ディファレンシャル	構造(全体)、歯当たり点検・良否判定が理解できる	211	2
実習	3.4	本間 大橋	ディファレンシャル	分解手順、注意点、構造(部品)が理解できる	211	2
実習	5.6	本間 大橋	ディファレンシャル	デフケースを分解、構造(部品)を理解できる	211	2
実習	7.8	本間 大橋	ディファレンシャル	デフケースの組立手順、注意点を理解できる	211	2
実習	9	本間 大橋	ディファレンシャル	ドライブピニオン組付	211	1
実習	10.11	本間 大橋	ディファレンシャル	プレロード、及び、バックラッシュ点検・調整、発生不具合が理解できる	211	2
実習	12.13	本間 大橋	ディファレンシャル	プレロード点検、調整作業を習得する	211	2
実習	14.15	本間 大橋	ディファレンシャル	バックラッシュ点検、調整作業を習得する	211	2
実習	16	本間 大橋	ディファレンシャル	組付作業の注意点が理解できる	211	1
実習	17.18	本間 大橋	ホイール	概要、各部名称、各サイズ(呼び)、品質保証が理解できる	211	2
実習	19.20	本間 大橋	タイヤ	各部名称、構造、サイズ(呼び)が理解できる	211	2
実習	21~23	本間 大橋	タイヤ	種類、トレッドパターン、各諸元が理解できる	211	3
実習	24.25	本間 大橋	タイヤ	種類(デンパタイヤ、冬タイヤ)が理解できる	211	2
実習	26..27	本間 大橋	タイヤ	不具合(振動、騒音、偏摩耗、発熱、各現象)が理解できる	211	2
実習	28	本間 大橋	タイヤ	現物を確認し、タイヤ・ホイールの理解度を深めることができる	211	1
実習	29	本間 大橋	タイヤ・ホイール	試験(eテスト)が合格できる	211	1
実習	30,31,32	本間 大橋	まとめ	まとめ	211	3

2025年度

電気装置 I-A シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 2

実施期

後期

教科時間計 45

電気装置 I-A

教員名 実務経験	佐々木 健太	友山 昌樹 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> ・点火装置の種類、構造、作動を学び、構造研究、単体点検を行う。 ・灯火装置の種類、構造、作動を学ぶ ・灯火装置のバルブ交換、ヘッドライト交換、光軸調整を行う ☆自動車販売店での整備経験者による授業	
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・点火装置の構造、作動、特徴が説明できる。各種点検ができ、良否判定ができる。 ・灯火装置の構造、作動が説明できる ・安全、確実に灯火装置のバルブ交換ができる ・不具合状況から起因故障を推測することができる 	
3.使用教科書、準備品	整備振興会 2級総合 整備振興会 3級総合 トヨタサービス TEAM GP G4(導入編・1STEP)G3(2STEP)	
4.授業時間	学科 10	実習 33
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	定期試験 配分(学科ペーパー50点 実技ペーパー35点 実技チェック10点 レポート5点)	

授業計画表(: 電気装置 I-AA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1~2	佐々木 友山	点火装置概要	点火装置の概要、仕組み、全体の構成が理解できる		2
学科	3~4	佐々木 友山	点火(回路と構成部品)	回路図と構成部品を一致させることができる		2
学科	5~6	佐々木 友山	点火時期	点火時期の必要性、作動が理解できる		2
学科	7	佐々木 友山	灯火装置(ヘッドランプ)	概要、構造、種類が理解できる		1
学科	8	佐々木 友山	灯火装置(その他)	その他ランプの特徴が理解できる		1
学科	9	佐々木 友山	e テスト	eテスト(メンテナンス、外装ボディー、ライト、電気)に合格する		1
学科	10	佐々木 友山		確認質問		1
実習	4	佐々木 友山	スパークプラグ	概要、特徴、及び、各種特徴を理解できる		4
実習	5-7	佐々木 友山	スパークプラグ	交換・各種点検を行い、良否判断ができ、トラブルが理解できる	教室・35B	3
実習	8	佐々木 友山	ディストリビュータ(IIA)	構造研究(進角部、配電部)が理解できる	245	1
実習	9-10	佐々木 友山	イグニッションコイル	検査基準、準備・点検作業を理解し、実施できる	245	2
実習	11	佐々木 友山	スパークプラグ	プラグ脱着、各種点検が行うことができる	35B	1
実習	12	佐々木 友山	点火時期点検	車両にて点火時期点検を行うことができる	35B	1
実習	13	佐々木 友山	ヘッドライト	種類、構造が理解できる	248	1
実習	14	佐々木 友山	ヘッドライト	各種機能(オートレベリング、コンライト)が理解できる	248	1
実習	15	佐々木 友山	ターンシグナル	種類、基本作動が理解できる	248	1
実習	16	佐々木 友山	ライト類	用語、保安基準の数値、測定方法を理解できる	248	1
実習	17-18	佐々木 友山	ランプ脱着	ハロゲン式、HID(ディスチャージ)式の交換作業ができる	35B	2
実習	19	佐々木 友山	ランプ脱着	その他ランプの交換作業ができる	35B	1
実習	20-21	佐々木 友山	ヘッドライトテスト	検査基準、準備・点検作業を理解し、実施できる	35B	2
実習	22-23	佐々木 友山	ヘッドライトテスト	光軸調整が実施できる	35B	2
実習	24-26	佐々木 友山	ヘッドライト	各端子での電圧測定が実施できる	35B	3
実習	27-30	佐々木 友山	ヘッドライト、他ライト	不具合時の電気の流れと、各端子での電圧測定が実施できる	35B	4
実習	31	佐々木 友山	eチェック2	ヘッドライトの光軸調整に合格できる	35B	1
実習	32-33	佐々木 友山	平常技術チェック	スパークプラグの脱着が正しく行える(eチェック1)	35B	2

2025年度

電気装置 I-B シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年		
実施期	後期	定期試験時間	2
		教科時間計	39

電気装置 I-B	
教員名 実務経験	西谷 孝也 加藤 安昭
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> 磁気の基礎を理解したうえで、発電機の原理を理解する オルタネータの各機構について構造・作動・必要性を学ぶ オルタネータの車上交換、点検を行う オルタネータ単体の分組、点検を行う
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> オルタネータの発電原理・構造・作動・回路作動を説明できる 安全、確実にオルタネータ車上交換、点検が行うことができる オルタネータの点検要領を理解し、測定値から良否判定ができる 不具合状況から起因故障を推測することができる
3.使用教科書、準備品	整備振興会 二級自動車整備士(総合) 整備振興会 三級自動車整備士(総合)
4.授業時間	学科 10 実習 27
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
6.評価方法	学科定期試験: 45% 実習定期試験: 40% 技術チェック10% + レポート5%

授業計画表(:電気装置 I-B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	西谷 加藤	概要	目的、必要条件、機能が理解できる		1
学科	2	西谷 加藤	発電の原理	電磁誘導作用、フレミング右手の法則が理解できる		1
学科	3	西谷 加藤	オルタの構造	基本構造、交流発生原理		1
学科	4	西谷 加藤	三相交流	三相交流波形が理解できる		1
学科	5	西谷 加藤	結線の種類	結成方法と特徴が理解できる		1
学科	6	西谷 加藤	基本回路(整流)	電流の流れが理解できる		1
学科	7	西谷 加藤	レクティブファイヤ	整流方法がわかりかえる		1
学科	8	西谷 加藤	eテスト	eテスト(充電装置、電源システム)に合格する		1
学科	9	西谷 加藤	確認試験	確認試験(学科、及び、実技ペーパー)が解ける		1
学科	10	西谷 加藤	復習	授業で解らない内容が無い		1
実習	1-4	西谷 加藤	オルタ脱着	車両にて、オルタネータ脱着作業ができる		4
実習	5-7	西谷 加藤	オルタ発生電圧	運転状態による発生電圧・電流の変化が理解できる		3
実習	8	西谷 加藤	ベルト脱着	車両にて、ベルト脱着作業ができる(反復練習)		1
実習	9-10	西谷 加藤	チェックシート	GPチェックシート(ベルト交換:オートテンショナー無)が合格できる		2
実習	11	西谷 加藤	バッテリー救援	GPの内容が実施できる		1
実習	12	西谷 加藤	外観確認	各部名称、端子名が理解できる		1
実習	13-16	西谷 加藤	分解・構造研究	部品名称、各端子名、特徴が理解できる		4
実習	17-18	西谷 加藤	部品点検	各部品の点検が実施でき、良否判定ができる		2
実習	19	西谷 加藤	組付け	組付時の注意点を理解しながら、組付作業ができる		1
実習	20	西谷 加藤	中性点ダイオード	特徴と作動が理解できる		1
実習	21	西谷 加藤	IC式ボルテージレギュレータ	発生電圧、電流の制御が理解できる		1
実習	22-24	西谷 加藤	M・IC式	回路図が理解でき、各種作動(制御)が理解できる		3
実習	25	西谷 加藤	復習	ロータ・ステータ・レクティブファイヤなど点検が実施でき、良否判定ができる		1
実習	26-27	西谷 加藤	技術チェック	各種部品の各点検が実施でき、良否判定ができる		2

2025年度

機械要素・製図 シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年	
実施期	後期	定期試験時間 1 教科時間計 7

製図	
教員名 実務経験	西谷 孝也 加藤 安昭
1.授業概要と履修前提	自動車整備における機械製図の一般知識を習得する
2.教科の到達目標	製図を見て、部品の形状、各寸法を理解して、形状を説明(想像)できる
3.使用教科書、準備品	整備振興会 二級自動車整備士(総合)
4.授業時間	学科 6 実習 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (○)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
6.評価方法	●定期試験 100%

授業計画表(学科:製図)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	西谷 加藤	製図の基本	図形投影方法、用紙の大きさ、線の種類が理解できる		1
学科	2	西谷 加藤	製図の基本	寸法記入、制度、及び、はめあい方式が理解できる		1
学科	3	西谷 加藤	形体の精度	幾何公差方式、独立の原則、包絡の条件が理解できる		1
学科	4	西谷 加藤	形体の精度、表面性状	最大実態公差(MMR)、除去加工の指示表面粗さが理解できる		1
学科	5	西谷 加藤	機械要素部品の製図	各要素部品の製図の書き方が理解できる		1
学科	6	西谷 加藤	確認試験	確認試験が解ける		1

2025年度

電気措置 I-C シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年		
実施期	後期	定期試験時間	2
		教科時間計	45

電気措置 I-C

教員名 実務経験	大橋 登 自動車メーカー		小野田 皓基	
1.授業概要と履修前提	トランジスタの基本作動を学ぶ トランジスタを使用したスイッチング回路作成とオシロスコープによる電圧測定 デジタルとアナログの違い、論理回路について学ぶ 断線ボックスにて電圧理解及びワイヤクリッパーの取り扱い			
2.教科の到達目標	トランジスタスイッチング回路作動中の各電圧、トランジスタ状態が説明できる。オシロスコープの波形が読み取れる。 論理回路が読め、2進数、10進数の変換読み取りが出来る。 灯火ボックスにて電圧測定結果から断線箇所のt九艇ができる 配線の補修作業ができる(ワイヤクリッパー)			
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス TEAM GP G3(2STEP) 三級自動車整備士 総合 二級自動車整備士 総合			
4.授業時間	学科	16	実習	27
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	●100点満点中45点分を学科の定期試験で評価 ●100満点中40点分を実技の定期試験で 12点分を授業で行う技術チェックで、3点分をレポートで評価			

授業計画表(: 電気措置 I-C)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	
学科	1	大橋 小野田	トランジスタ	トランジスタの種類、記号、作動が説明できる		1
学科	2-4	大橋 小野田	トランジスタ	スイッチング作動が理解でき、説明ができる		3
学科	5	大橋 小野田	トランジスタ	電流増幅率の問題が解ける		1
学科	6	大橋 小野田	デジタル	デジタル信号の基礎が解る		1
学科	7-8	大橋 小野田	論理回路	論理回路の図記号や基本作動が解る		2
学科	9	大橋 小野田	センサー回路	フォトトランジスタ		1
学科	10-11	大橋 小野田	センサー回路	ツェナダイオード		2
学科	12-13	大橋 小野田	センサー回路	距離センサー		2
学科	14	大橋 小野田	センサー回路	磁気センサー		1
学科	15	大橋 小野田	確認試験	得点率60%以上		1
学科	16	大橋 小野田	Eテスト			1
実習	1-3	大橋 小野田	灯火BOX	灯火BOXの電圧測定ができる	255	3
実習	4-6	大橋 小野田	灯火BOX	灯火BOXの断線箇所を予測・発見できる	255	3
実習	7	大橋 小野田	スイッチング回路	トランジスタの基本と点検ができる	255	1
実習	8-9	大橋 小野田	スイッチング回路	トランジスタの特性、作動が説明できる。	255	2
実習	10-12	大橋 小野田	スイッチング回路	工作回路が完成している	255	3
実習	13	大橋 小野田	スイッチング回路	回路説明ができる	255	1
実習	14-15	大橋 小野田	スイッチング回路	波形予測ができる	255	2
実習	16-17	大橋 小野田	スイッチング回路	波形観測ができる	255	2
実習	18-20	大橋 小野田	温度検出回路		255	3
実習	21	大橋 小野田	発振回路		255	1
実習	22-23	大橋 小野田	ワイヤハーネス加工	ワイヤクリップを使用できる	255	2
実習	24-25	大橋 小野田	ワイヤハーネス加工	ワイヤハーネスを加工した配線修理ができる	255	2
実習	26-27	大橋 小野田	確認試験	得点率60%以上	255	2

2025年度

エンジン I -A シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 0

実施期 学年末

教科時間計 17

エンジン I -A

教員名 実務経験	定行 智	足立 拓 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	安全作業・リフトの取扱いについて学ぶ リフト操作概要及び操作方法 オイル交換作業の手順及び方法	
2.教科の到達目標	安全作業・リフトの取扱いを理解し、実技授業の多頻度作業に関連付けできる 安全作業・リフトの取扱いを理解し、実技授業の多頻度作業(オイル交換)ができる	
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト工具・計測器・整備機器編 TEAM-GP 技術テキスト 導入編	
4.授業時間	学科 1	実習 16
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	無し	

授業計画表(:エンジン I -A)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	定行	足立	リフト	安全作業・リフトの取扱いを理解する		1
実習	1	定行	足立	車両	お客様の自動車を意識した丁寧な車両の取扱いができる	31実	1
実習	2,3	定行	足立	リフト	安全作業を意識したリフト操作ができる	31実	2
実習	4,5	定行	足立	エンジンオイル	点検・交換の必要性を理解し、車両にて正しい作業ができる (作業と同時に交換時期やお客様へのアドバイスができる)	31実	2
実習	6	定行	足立	オイルフィルター	異なる2種類の基本作業要領を理解し作業ができる	31実	1
実習	7~10	定行	足立	オイル&フィルター1	カートリッジ交換式の車両で正確な作業ができる	31実	4
実習	11~14	定行	足立	オイル&フィルター2	エレメント交換式の車両で正確な作業ができる	31実	4
実習	15	定行	足立	【eテスト】	安全2 70点以上合格	教室	1
実習	16	定行	足立	【チェックシート】	エンジンオイル・オイルフィルター交換作業【TEAM-GP】	31実	1

2025年度

エンジン I-B シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 0

実施期 学年末

教科時間計 17

		エンジン I-B	
教員名 実務経験	菊田 直樹 自動車メーカー	安池 孝夫	
1.授業概要と履修前提	EFI・コンピュータ制御について学ぶ ・筒内噴射式エンジンの概要を理解する・外部診断機について学ぶ		
2.教科の到達目標	EFI・コンピュータ制御の知識を深め、実技授業の故障探求に関連付けできる 外部診断機(GTS+)の基本的な機能を理解し、適切な操作ができる		
3.使用教科書、準備品	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンエンジン構造 ・二級自動車整備士(総合) ・TEAM-GP技術テキスト 導入教育編・1STEP ・トヨタサービス技術テキスト 工具・計測器・整備機器編 		
4.授業時間	学科	3	実習 14
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている		
6.評価方法	評価なし		

授業計画表(:エンジン I-B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1, 2	菊田 安池	EFI・OBD	EFI・OBD2機能について理解する		2
学科	3	菊田 安池	【eテスト】	筒内噴射装置2コンテンツ、GTS+の概要 70点以上合格		1
実習	1	菊田 安池	筒内噴射式エンジン	筒内噴射式の概要を理解する		1
実習	2	菊田 安池	筒内噴射式エンジン	筒内噴射式の基本部品の役割を理解する		1
実習	3	菊田 安池	筒内噴射式エンジン	筒内噴射式の構造・作動を理解する		1
実習	4	菊田 安池	筒内噴射式エンジン	筒内噴射式の構造・作動を理解する		1
実習	5	菊田 安池	GTS+の構成	主な装置(VIM、PC)の構成、正しい接続が理解できる	32実	1
実習	6	菊田 安池	GTS+の接続	正しい接続、ソフトの起動・設定が理解できる		
実習	7	菊田 安池	ヘルスチェック	操作方法を理解し、ヘルスチェックができる	32実	1
実習	8	菊田 安池	ダイアグノーシス	機能を理解し、ダイアグコード表示・消去ができる	32実	1
実習	9	菊田 安池	データモニター	機能を理解し、データ表示ができる	32実	1
実習	10	菊田 安池	データモニター	機能を理解し、データ表示ができる	32実	1
実習	11	菊田 安池	アクティブテスト	機能を理解し、基礎的なアクティブテストができる	32実	1
実習	12	菊田 安池	作業サポート	機能や基礎的なサポート内容の知識を深める	32実	1
実習	13	菊田 安池	カスタマイズ	カスタマイズ項目の知識を深める	32実	1
実習	14	菊田 安池	【eテスト】	GTS+の概要 70点以上合格	32実	1
			【チェックシート】	GTS取扱い【TEAM-GP】	32実	1

2025年度

シャシ I -A シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 0

実施期 学年末

教科時間計 17

シャシ I -A

教員名 実務経験	中田 善之	鈴木 郁哉 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキの種類、ブレーキブースタ、マスターシリンダの復習。 前期、後期授業で履修したブレーキ関係の復習。 パンタグラフジャッキを使って応急用タイヤへの交換作業 パーキングブレーキの仕組みと調整作業の習得をする 	
2.教科の到達目標	ブレーキの種類と特徴、及びブレーキブースタ、マスターシリンダ作動が説明できる。 ブレーキの種類が理解でき、構造が説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> 応急用タイヤへの交換ができる パーキングブレーキの調整、ドラムブレーキの分解組付けとすき間調整ができる 	
3.使用教科書、準備品	日整連 3級総合、2級総合 TEAM-GP 技術テキスト 1STEP、2STEP 自動車整備技術 シャシ2 トヨタサービス TEAM GP G4(導入編)、(1STEP)	
4.授業時間	学科 1	実習 16
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている <ul style="list-style-type: none"> サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている 	
6.評価方法		

授業計画表(:シャシ I -A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	中田 鈴木	ブレーキ	ブレーキ全体の種類と構造作動が理解できる。		1
実習	1～3	中田 鈴木	タイヤ	パンタグラフジャッキを使用し、テンパータイヤに交換ができる。	35A	3
実習	4	中田 鈴木	パーキングブレーキ	ドラムブレーキの隙間調整が時間内にできる。	35A	3
実習	5	中田 鈴木	12か月点検	12か月点検のブレーキ内容が判定含めて正しく実施できる	35A	3
実習	6	中田 鈴木	日常点検	日常点検が判定含めて正しく実施できる	35A	3
実習	7～9	中田 鈴木	ブレーキ	トラブルシュートが理解できる	35A	2
実習	10	中田 鈴木	ブレーキ	ドラムブレーキの隙間調整が時間内にできる。	35A	2

2025年度

シャシ I-B シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年		
		定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	17

シャシ I-B

教員名 実務経験	小野田 貴文 自動車販売店		坂元 亮太	
1.授業概要と履修前提	タイヤ空気充填作業安全講習内容			
2.教科の到達目標	タイヤ空気充填作業安全講習に関する知識を身に付ける タイヤチェンジャー、ホイールバランスを取り扱うことができる			
3.使用教科書、準備品	三級自動車整備士(総合) 保護メガネ、作業用グローブ			
4.授業時間	学科	9	実習	8
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(:シャシ I-B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間	
学科	1~2	小野田(貴)	坂元	タイヤ空気圧充填作業安全講習	タイヤに関する知識を身に付ける	244	2
学科	3	小野田(貴)	坂元	タイヤ空気圧充填作業安全講習	作業用機器に関する知識を身に付ける	244	1
学科	4~6	小野田(貴)	坂元	タイヤ空気圧充填作業安全講習	タイヤ分組に関する知識を身に付ける	244	3
学科	7	小野田(貴)	坂元	タイヤ空気圧充填作業安全講習	充填作業に関する知識を身に付ける	244	1
学科	8	小野田(貴)	坂元	タイヤ空気圧充填作業安全講習	関係法令、災害事例に関する知識を身に付ける	244	1
学科	9	小野田(貴)	坂元	タイヤ空気圧充填作業安全講習	確認試験	244	1
実習	1~8	小野田(貴)	坂元	タイヤ空気圧充填作業	タイヤチェンジャー・ホイールバランスが取り扱うことができる	34C	8

2025年度

シャシ I-C シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年
実施期	学年末
定期試験時間	0
教科時間計	17

		シャシ I-C	
教員名	本間 滉太郎	大橋 信夫	
実務経験	自動車販売店		
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> ・駆動装置の復習を行い、理解をさらに深める ・トランスアクスル(MT)について学ぶ 		
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・駆動装置の理解度を深め、不具合対応に活用できる ・トランスアクスル(MT)の実物を確認し、名称や役目を答えることができる 		
3.使用教科書、準備品	teamgp 技術テキスト 導入編, 1STEP ・日整連 2級自動車整備士(総合) 3級自動車整備士(総合) 自動車整備技術 シャン1		
4.授業時間	学科	12	実習 5
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎) ・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎) ・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている		
6.評価方法			

授業計画表(:シャシ I-C)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	本間 大橋	トランスアクスル	外観より、各部品が理解できる。	238	1
学科	2	本間 大橋	トランスアクスル	トランスアクスルを分解、構造(部品)を理解できる	238	1
学科	3	本間 大橋	トランスアクスル	トランスアクスルの組立手順、注意点を理解できる	238	1
学科	4	本間 大橋	プロペラシャフト	座学の内容を実物で確認し、説明できる	238	1
学科	5	本間 大橋	ドライブシャフト	構造研究、ブーツ(スपीジ)交換作業が理解できる	238	1
学科	6	本間 大橋	クラッチ	クラッチの不具合箇所が判断できる。	238	1
学科		本間 大橋	トランスミッション	トランスミッションの不具合箇所が判断できる。	238	
学科		本間 大橋	デフ、シャフト	デフ、シャフトの不具合箇所が判断できる。	238	
学科	7~11	本間 大橋	手仕上げ	手仕上げ工具の特徴・使用方法を理解できる	238	5
学科		本間 大橋	手仕上げ	刃物(カッター)の使用を通して、安全作業を身に付けることができる	238	
学科		本間 大橋	手仕上げ	作業を通して、工具の使い方を理解・習得できる	238	
学科	12	本間 大橋	トランスアクスル	トランスアクスルの構造が理解できる	238	1
実習	1	本間 大橋	トランスアクスル	トランスアクスルの構造が理解できる	211	1
実習	2	本間 大橋	技術チェック	ドライブシャフトブーツ交換作業ができる。	211	1
実習	3	本間 大橋	パワートレイン	デフ、シャフトの不具合箇所が判断できる。	211	1
実習	4	本間 大橋	パワートレイン	クラッチ・トランスミッションの不具合箇所が判断できる。	211	1
実習	5	本間 大橋	手仕上げ	手仕上げ工具の特徴・使用方法を理解できる	211	1

2025年度

電気装置 I-A シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年		
実施期	学年末	定期試験時間	0
		教科時間計	17

		電気装置 I-A	
教員名 実務経験	佐々木 健太	友山 昌樹	自動車販売店
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> カーナビ、ETCの基礎知識を身に付ける TDIの構造・作動を学ぶ トラブルシュートの進め方を学ぶ ☆自動車販売店での整備経験者による授業		
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> カーナビ、ETCの基礎知識を理解できる オーディオユニットの各種操作、脱着要領が理解できる トラブルシュートの基礎を身に付けることができる 		
3.使用教科書、準備品	振興会 2級・3級自動車整備士(総合) TEAM-GP G4(1STEP) G3(2STEP) ・手持ち工具 保護眼鏡・手袋 ウェス サーキットテスタ 自動車整備技術 電気装置1-A		
4.授業時間	学科	7	実習 10
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている		
6.評価方法			

授業計画表(:電気装置 I-A)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	佐々木	友山	点火装置(復習)	点火装置の復習	248	1
学科	2	佐々木	友山	点火装置	電子制御式点火装置の制御を理解する	248	1
学科	3~4	佐々木	友山	カーナビ	カーナビ、ETCの構造が理解できる	248	2
学科	5~6	佐々木	友山	ホーン	ホーンの構造、作動、法規(保安基準)が理解できる	248	2
学科	7	佐々木	友山	平常試験	平常試験が解ける	248	1
実習	1~4	佐々木	友山	点火装置(TDI)	TDI(ダイレクト式)の構造・作動が理解できる	248	4
実習	5~7	佐々木	友山	電圧測定 I	灯火BOXを使用した電圧測定、不具合特定ができる	245	3
実習	8~10	佐々木	友山	オーディオユニット脱着	オーディオユニットの各種操作、脱着要領が理解できる	35B	3

2025年度

電気装置 I-B シラバス

課程・学年 自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年

定期試験時間 0

実施期 学年末

教科時間計 17

電気装置 I-B

教員名 実務経験	西谷 孝也	加藤 安昭
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> 各電気装置の復習を通して、理解度の向上を図る Ωの法則の計算の理解度を向上を図る 拭取り装置の種類、作動、構造を学ぶ 拭取り装置の各種点検を行い、良否判定を行う 	
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各種装置の構造、作動の理解がより深くできる 拭取り装置の構造、作動が理解できる モータの回転速度の変化、回路が理解できる ワイパゴムの交換がスムーズにできる 	
3.使用教科書、準備品	整備振興会 二級自動車整備士(総合) 整備振興会 三級自動車整備士(総合) 手持ち工具, 保護眼鏡, 手袋, ウェス	
4.授業時間	学科 4	実習 13
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法		

授業計画表(:電気装置 I-B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	西谷 加藤	ワイパ概要、構造	概要、種類、構造を理解できる	249	1
学科	2	西谷 加藤	リンク機構	構造が理解できる	249	1
学科	3	西谷 加藤	ワイパ電気回路	速度制御の方法、作動(INT、LO、HI、自動停止)が理解できる	249	1
学科	4	西谷 加藤	eテスト	ワイパ、その他の項目が合格できる	249	1
実習	1	西谷 加藤	ウォッシュ機能	概要、用途が理解できる		1
実習	2	西谷 加藤	ワイパモータ	モータ単体を分解、構造研究を行い、理解を深める		1
実習	3	西谷 加藤	ワイパモータ	単体点検を実施し、良否判定を行うことができる		1
実習	4~6	西谷 加藤	ワイパアーム脱着	車両にて、注意点を理解して、実施できる		3
実習	7	西谷 加藤	ウォッシュ液噴射状態	点検、噴射方向の調整を行うことができる		1
実習	8	西谷 加藤	ワイパラバー交換	車両にて、注意点を理解して、実施できる。		4
実習	9~12	西谷 加藤	ワイパ回路電圧測定	ワイパの作動を理解しつつ、各ポイントの電圧測定が行える		1
実習	13	西谷 加藤	技術チェック(eチェック)	eチェック(ラバー交換、ワイパ点検)に合格できる		1

2025年度 電気措置 I-C シラバス

課程・学年	自動車整備科1年・高度自動車工学科1年・国際自動車整備科2年		
実施期	学年末	定期試験時間	0
		教科時間計	17

電気措置 I-C			
教員名	大橋 登		小野田 皓基
実務経験	自動車メーカー		
1. 授業概要と履修前提	ネームラベルとエアクリナーエレメント ドアミラー及び内装など脱着取り扱いについて		
2. 教科の到達目標	ネームラベルについて理解を深める。エアクリナーの清掃方法がわかる 電子技術マニュアルの観かたの練度を向上させる。 ドアミラーを含め内装取り扱いについて理解を深める。		
3. 使用教科書、準備品			
4. 授業時間	学科	4	実習 13
5. ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている		
6. 評価方法			

授業計画表(：電気措置 I-C)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1	大橋 小野田	ネームラベルと打刻			3
学科	4	大橋 小野田	確認試験			1
実習	1	大橋 小野田	ネームラベルと打刻	ネームラベルの場所、打刻位置がわかる。	34B	1
実習	2	大橋 小野田	エアクリナー	エアガン取り扱いエアクリナーエレメント取り外しと清掃ができる	34B	1
実習	3	大橋 小野田	アウトードアミラー脱着	電子技術マニュアルを操作しながらミラーの脱着方法 構造を理解する。	34B	1
実習	4	大橋 小野田	サイドターンシグナル脱着	電子技術マニュアルを操作しながら当該部品の脱着方法 構造を理解する。	34B	1
実習	5	大橋 小野田	サイドターンシグナル脱着	樹脂製部品の補修方法を知る	34B	1
実習	6～8	大橋 小野田	アウトードアミラーassy脱着	当該部品の脱着方法 及び部品取り扱い保管方法を理解する。	34B	3
実習	9～13	大橋 小野田	ルーフヘッドライニング脱着	当該部品の脱着方法 及び部品取り扱い保管方法を理解する。	34B	5

2025年度

エンジンⅡ シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車工学科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	40

教員名 実務経験	エンジンⅡA		エンジンⅡB	
	小川 剛司	矢下 椋大	浅野 忠伯	長谷川 貴史
	自動車販売店		自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	可変バルブタイミング 過給機		ガソリンエンジン 電子制御燃料噴射装置(EFI) ガソリンエンジン 排気装置	
2.教科の到達目標	可変バルブタイミングの必要性を理解し作動説明できる 過給機の種類と特徴を理解し作動説明できる 国家試験問題を解くことができる		排出ガスの種類と発生原因を理解し説明できる センサー・コンピュータ制御の基礎を理解し説明できる 国家試験問題を解くことができる	
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト 1STEP・2STEP 2級ガソリン自動車エンジン編 2級ジーゼル自動車エンジン編		トヨタサービス技術テキスト 1STEP・2STEP 2級ガソリン自動車エンジン編	
4.授業時間	前期	14	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (○)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	エンジンⅡAの平常試験10%、エンジンⅡBの平常試験10% エンジンⅡAとⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(学科:エンジンⅡA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	小川 矢下	エンジン本体	可変バルブタイミングの必要性・役目を理解する	231	1
前期	2	小川 矢下	エンジン本体	VVT-iの構造・構成部品を理解する	231	1
前期	3	小川 矢下	エンジン本体	VVT-iの作動を理解する	231	1
前期	4	小川 矢下	エンジン本体	VVTL-iの構造・作動を理解する	231	1
前期	5	小川 矢下	エンジン本体	VVT-iとiEの違いを理解する	231	1
前期	6	小川 矢下	エンジン本体	バルブ機構の役目・構造を理解する	231	1
前期	7	小川 矢下	吸排気装置	過給機の役目、種類を理解する	231	1
前期	8	小川 矢下	吸排気装置	ターボチャージャの作動を理解する	231	1
前期	9	小川 矢下	吸排気装置	ターボチャージャの過給圧制御、特徴を理解する	231	1
前期	10	小川 矢下	吸排気装置	スーパーチャージャの特徴、作動を理解する	231	1
前期	11	小川 矢下	吸排気装置	インタークーラの役目を理解する	231	1
前期	12	小川 矢下	eテスト	eテスト(ガソリンエンジン2・エンジンメカニカル2)の内容を理解する	231	1
前期	13	小川 矢下	eテスト	eテスト(ターボチャージャ・オーバーホール)の内容を理解する	231	1
前期	14	小川 矢下	平常試験	授業内容全般を理解する	231	1

授業計画表(学科:エンジンⅡB)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	浅野 長谷川	エンジン本体	ガソリンエンジンの排出ガスを理解する	232	1
前期	2	浅野 長谷川	エンジン本体	排出ガス対策の酸化触媒・還元触媒・三元触媒を理解する	232	1
前期	3	浅野 長谷川	エンジン本体	排出ガス対策のEGR・ブローバイガス還元装置を理解する	232	1
前期	4	浅野 長谷川	電子制御装置	EFI装置の概要を理解する	232	1
前期	5	浅野 長谷川	電子制御装置	フューエルポンプの制御を理解する	232	1
前期	6	浅野 長谷川	電子制御装置	バキュームセンサの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	7	浅野 長谷川	電子制御装置	エアフロメータの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	8	浅野 長谷川	電子制御装置	スロットル・アクセルポジションセンサの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	9	浅野 長谷川	電子制御装置	O ₂ ・空燃比センサの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	10	浅野 長谷川	電子制御装置	クランク角・カム角センサの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	11	浅野 長谷川	電子制御装置	温度・ノックセンサの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	12	浅野 長谷川	電子制御装置	インジェクタの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	13	浅野 長谷川	電子制御装置	燃料噴射制御の概要を理解する	232	1
前期	14	浅野 長谷川	電子制御装置	同期・非同期噴射の種類を理解する	232	1
前期	15	浅野 長谷川	電子制御装置	フューエルカットを理解する	232	1
前期	16	浅野 長谷川	電子制御装置	空燃比F/B、学習制御を理解する	232	1
前期	17~22	浅野 長谷川	CAN	CAN通信の概要、構成、制御を理解する	232	6
前期	23	浅野 長谷川	eテスト	eテスト(エンジンメカニカル3・4、ガソリンエンジン3)の内容を理解する	232	1
前期	24	浅野 長谷川	平常試験	授業内容全般を理解する	232	1

2025年度

エンジン実習Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車工学科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	75

教員名 実務経験	エンジン実習ⅡA		エンジン実習ⅡB		
	小川 剛司	矢下 椋大 自動車販売店	浅野 忠伯	長谷川 貴史 自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	可変バルブタイミング 過給機 エンジン計測作業		・外部診断機(GTS)の習熟 ・電子技術マニュアル取り扱い ・電子制御装置の構造構成制御理解		
2.教科の到達目標	可変バルブ装置の構造・作動が理解できる 正しい測定値を得るための計測器の取扱いができる 正しく測ることができ、結果を元に判定ができる		診断機を使用し、基本的な点検・計測作業ができる EFIの構成部品について、基礎的な知識が習得できる		
3.使用教科書、準備品	2級ガソリン自動車 エンジン編 トヨタサービス技術テキスト 工具、計測器、整備機器編		自動車整備技術 ガソリンエンジン 2級ガソリン自動車 エンジン編		
4.授業時間	前期 37	- 0	前期 36	- 0	
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている				
6.評価方法	エンジン実習ⅡAの平常試験・レポート10%、エンジン実習ⅡBの平常試験・レポート10% エンジン実習ⅡAの技術チェック10%、エンジン実習ⅡBの技術チェック10% エンジン実習ⅡAとⅡBの内容を合わせた定期試験60%				

授業計画表(実習:エンジンⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1~4	小川	矢下	エンジン本体	可変バルブタイミングの構成・構造・作動を理解する	32A	4
前期	5~6	小川	矢下	吸排気装置	ターボチャージャの構造を理解する	32A	2
前期	7	小川	矢下	エンジン計測	正しい測定値を得るための注意事項を理解する	32A	1
前期	8	小川	矢下	エンジン計測	オーバーホールの基礎や注意事項を理解する	32A	1
前期	9~11	小川	矢下	エンジン計測	カムシャフト関係の脱着・測定が正確にできるようになる	32A	3
前期	12~15	小川	矢下	エンジン計測	バルブ関係の脱着・測定が正確にできるようになる	32A	4
前期	16	小川	矢下	エンジン計測	カムシャフト脱着・振れ点検を習熟する	32A	1
前期	17	小川	矢下	平常試験	チェックシート(カムシャフト脱着)が正確にできるようになる	32A	1
前期	18	小川	矢下	平常試験	チェックシート(振れ測定)が正確にできるようになる	32A	1
前期	19~20	小川	矢下	エンジン計測	ピストン/コンロッド脱着が正確にできるようになる	32A	2
前期	21~22	小川	矢下	エンジン計測	エンジン計測機器の取り扱いを理解する	32A	2
前期	23~25	小川	矢下	エンジン計測	シリンダー関係の測定が正確にできるようになる	32A	3
前期	26~30	小川	矢下	エンジン計測	ピストン関係の測定が正確にできるようになる	32A	5
前期	31~33	小川	矢下	エンジン計測	クランクシャフト関係の測定が正確にできるようになる	32A	3
前期	34	小川	矢下	エンジン計測	各測定を習熟する	32A	1
前期	35~37	小川	矢下	平常試験	チェックシート(エンジン計測全般)が正確にできるようになる	32A	3

授業計画表(実習:エンジンⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	浅野	長谷川	基本作業	危険予知ができるようになる	32B	1
前期	2~5	浅野	長谷川	EFI構成部品	EFI構成部品の種類・取り付け位置・役目等を理解する	32B	4
前期	6~8	浅野	長谷川	EFI構成部品	ECUの電源・アースについて理解する	32B	3
前期	9~10	浅野	長谷川	外部診断機	ダイアグ機能の概要、検出原理を理解する	32B	2
前期	11~13	浅野	長谷川	外部診断機	外部診断機の取り扱い(基礎)ができるようになる	32B	3
前期	14	浅野	長谷川	電子技術マニュアル	電子技術マニュアルの修理書にて調べることができるようになる	32B	1
前期	15	浅野	長谷川	電子技術マニュアル	修理書より正常データ収集ができるようになる	32B	1
前期	16~17	浅野	長谷川	電子技術マニュアル	解説書より各正常データ収集ができるようになる	32B	2
前期	18~19	浅野	長谷川	電子技術マニュアル	配線図より不具合時の値、現象確認ができるようになる	32B	2
前期	20~23	浅野	長谷川	EFI構成部品	データモニターにて正常データ収集ができるようになる	32B	4
前期	24~29	浅野	長谷川	EFI構成部品	各センサーの波形観測ができるようになる	32B	6
前期	30~31	浅野	長谷川	EFI構成部品	ダイアグコード読み取りや現象確認ができるようになる	32B	2
前期	32~34	浅野	長谷川	CAN	ボデー多重通信の基本的な診断ができる	32B	3
前期	35~36	浅野	長谷川	平常試験	授業内容全般を理解する	32B	2

2025年度

シャシⅡ シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車工学科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	39

教員名 実務経験	シャシⅡA		シャシⅡB	
	小掠 哲弘	上田 貴洋	立山 耕司	佐藤 和哉
1.授業概要と履修前提	<ul style="list-style-type: none"> 定期点検の必要性, 種類を理解する。 定期交換部品の商品知識, 交換時期を理解する(復習) ☆自動車販売店での整備経験者により, 上記専門知識を 		車体の振動, バネ定数, 固有振動数, エアサスペンション, エキゾースト・複合式・エアブレーキ, 各スプリングのばね特性, 各リターダーについて。	
2.教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 定期交換部品の商品知識, 交換時期を説明できる。 		走行性能, エアサスペンション, エキゾーストブレーキ, 複合式ブレーキ, エアブレーキで各スプリングのばね特性, 各リターダーについて説明できる。	
3.使用教科書、準備品	法令テキスト トヨタサービス技術テキスト 導入教育編		二級シャシ	
4.授業時間	前期 10	まとめA・B 3	前期 26	- 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し, 点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力, 良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	シャシⅡAの平常試験10%、シャシⅡBの平常試験10% シャシⅡAとシャシⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(学科:シャシⅡA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1~3	小掠 上田	定期点検整備	定期点検の目的・必要性を理解する	教室	3
前期	4	小掠 上田	定期点検整備	車両・リフトの取り扱いを理解する	教室	1
前期	5~6	小掠 上田	基礎	エンジンオイルの知識を理解する	教室	2
前期	7	小掠 上田	基礎	ブレーキフルードの知識を理解する	教室	1
前期	8	小掠 上田	基礎	バッテリーの知識を理解する	教室	1
前期	9	小掠 上田	基礎	エアクリーナ, LLCの知識を理解する	教室	1
前期	10	小掠 上田	基礎	タイヤの知識を理解する	教室	1
前期	11	小掠 上田	定期点検整備	パッド, ラインングの知識を理解する	教室	1
前期	12.13	小掠 上田	基礎	復習, まとめ	教室	2
前期	14	小掠 上田	基礎	国家試験対策(工学)	教室	1
前期	15	小掠 上田	定期点検整備	平常試験	教室	1

授業計画表(学科:シャシⅡB)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	立山 佐藤	サスペンション性能	ばね定数, 振動の特性グラフ, 固有振動数, 共振を理解する	237	1
前期	2	立山 佐藤	サスペンション性能	車体の振動, 揺動のローリング, 各振動の発生原因のロールセンタもを理解する	237	1
前期	3	立山 佐藤	エアサス	概要, 特性の長所, 短所の金属スプリングとの比較を理解する	237	1
前期	4	立山 佐藤	エアサス	構成部品の名称, 配置, 役目を理解する	237	1
前期	5	立山 佐藤	エアサス	エアスプリングの種類, 構造, 特徴を理解する	237	1
前期	6~7	立山 佐藤	複合式ブレーキ	概要の用途, 構成部品を理解する	237	2
前期	8~10	立山 佐藤	エアブレーキ	概要, 構成部品の用途, 部品の名称と配置を理解する	237	3
前期	11~12	立山 佐藤	練習問題	エアサス, EXブレーキ, 複合ブレーキ, エアブレーキの国家試験が解ける	237	2
前期	13.14	立山 佐藤	習熟	今回学んだことを想起し, 抜け, 漏れ, 理解不足を把握し, 補う	237	2
前期	15	立山 佐藤	平常試験	平常試験	237	1

2025年度

シャシⅡ実習 シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車工学科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	91

教員名 実務経験	シャシⅡ実習A			シャシⅡ実習B				
		小掠 哲弘	上田 貴洋		立山 耕司	佐藤 和哉	自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	日常点検、プロケア10 12か月定期点検 ☆自動車販売店での整備経験者により、上記実践技能を			大型シャシ、エアサスペンション、複合型ブレーキ、エアブレーキについて				
2.教科の到達目標	安全な作業ができる 正確な点検、記録簿の正しい記載ができる 整備機器の正しい取り扱いができる			大型シャシ、エアサスペンション、複合型ブレーキ、エアブレーキについて説明できる。 車両を安全に取扱いできる				
3.使用教科書、準備品	トヨタ定期点検作業要領説明書 技術テキスト 導入教育編 教育用メンテナンスノート			二級シャシ 自動車整備技術 シャシ4				
4.授業時間	前期	50	まとめA・B	3	前期	38	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている							
6.評価方法	シャシⅡAの平常試験5%、シャシⅡBの平常試験5% シャシⅡAのレポート5%、シャシⅡBのレポート5% シャシⅡAとシャシⅡBの内容を合わせた定期試験80%							

授業計画表(実習:シャシⅡA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	小掠 上田	定期点検整備	エンジン始動、車両の取り扱いができるようになる	31A	1
前期	2	小掠 上田	定期点検整備	リフトの取り扱いができるようになる	31A	1
前期	3~4	小掠 上田	定期点検整備	日常点検ができるようになる	31A	2
前期	5~6	小掠 上田	定期点検整備	タイヤ脱着ができるようになる	31A	2
前期	7~8	小掠 上田	定期点検整備	1ヶ月無料点検と記録簿の記入ができるようになる	31A	2
前期	9	小掠 上田	定期点検整備	6ヶ月無料点検と記録簿の記入ができるようになる	31A	1
前期	10~11	小掠 上田	定期点検整備	プロケア10の点検項目確認・記載ができるようになる	31A	2
前期	12~13	小掠 上田	定期点検整備	プロケア10ができるようになる	31A	2
前期	14~16	小掠 上田	定期点検整備	12ヶ月定期点検項目の記録簿の記入ができるようになる	31A	3
前期	17~25	小掠 上田	定期点検整備	12ヶ月定期点検整備ができるようになる(1~3ローテ)	31A	9
前期	26	小掠 上田	定期点検整備	より効率の良い作業を話し合って考えることができる	31A	1
前期	27~34	小掠 上田	定期点検整備	12ヶ月定期点検整備ができるようになる(4~6ローテ)	31A	8
前期	35~36	小掠 上田	定期点検整備	平常試験(実技チェック)	31A	2
前期	37	小掠 上田	定期点検整備	平常試験(実技ペーパー)	222	1

授業計画表(実習:シャシⅡB)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1~4	立山 佐藤	基礎	シューの組付けができるようになる、エアサス概要が説明できる	33B	4
前期	5~8	立山 佐藤	エキゾーストブレーキ	作動の説明ができるようになる	33B	4
前期	9~11	立山 佐藤	複合式ブレーキ	作動およびトラブルの説明ができるようになる	33B	3
前期	12~14	立山 佐藤	エアブレーキ	構造、作動が説明できる	33B	3
前期	15~24	立山 佐藤	エアブレーキ	ブレーキバルブ、ドライヤ、制動倍力装置、レベリングバルブが理解できる	33B	11
前期	25~35	立山 佐藤	トラック	リヤアクスル取り外し、ドラムの分解組付けができる	33B	10
前期	36	立山 佐藤	習熟	今回学んだことを想起し、抜け、漏れ、理解不足を把握し、補う	33B	1
前期	37	立山 佐藤	平常試験	平常試験	33B	1

2025年度

電気装置Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車工学科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	前期	教科時間計	36

教員名 実務経験	電気装置ⅡA		電気装置ⅡB					
	官林 佳希 自動車メーカー	青谷 真乃介 自動車販売店	小山 真由子	青山 厚太 自動車販売店				
1.授業概要と履修前提	アライメント パワステ		ABS/TRC/VSC ECB TSS パワーウインドウ					
2.教科の到達目標	アライメントとパワステを理解し、国家試験問題が解ける		ABS/TRC/VSCを理解し、国家試験問題が解ける TSSの知識を付けお客様に説明ができる。 ECB パワーウインドウを理解し、点検整備につなげる					
3.使用教科書、準備品	2級シヤシ		2級シヤシ トヨタサービス 導入、1、2STEP					
4.授業時間	前期	18	-	0	前期	17	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	電装Aの平常試験10%、電装Bの平常試験10% 電装AとBの内容を合わせた定期試験80%							

授業計画表(学科:電気装置ⅡA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1~4	官林 青谷	アライメント	キャンバの目的・機能・役目を理解する。	237	4
前期	5	官林 青谷	アライメント	キャスタの目的・機能・役目を理解する。	237	1
前期	6~8	官林 青谷	アライメント	キングピンアングルの目的・機能・役目を理解する。	237	3
前期	9~13	官林 青谷	パワステ	オイルポンプの構成・作動を理解する	237	5
前期	14~16	官林 青谷	パワステ	インテグラル型の作動を理解する	237	3
前期	17~18	官林 青谷	パワステ	電子制御を理解する	237	2

授業計画表(学科:電気装置ⅡB)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	小山 青山	トヨタの安全の考え方	総合安全コンセプトが理解できる	238	1
前期	2	小山 青山	ABS概要	必要性が理解できる	238	1
前期	3	小山 青山	ABS特徴・制御	特徴・構成部品・制御が理解できる	238	1
前期	4~6	小山 青山	ABS作動	ABS作動の国家試験問題が解ける	238	3
前期	7	小山 青山	TRC	概要、構成部品、作動を理解し国家試験問題が解ける	238	1
前期	8	小山 青山	VSC	VSC概要、制御が理解できる	238	1
前期	9~11	小山 青山	TSS	TSSの種類が理解できる	238	3
前期	12~14	小山 青山	ECB	ECBの構成が理解できる	238	3
前期	15~17	小山 青山	パワーウインドウ	構成部品を理解できる	238	3

2025年度 電気装置実習Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車工学科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	87

		電気装置実習ⅡA		電気装置実習ⅡB	
教員名 実務経験		官林 佳希	青谷 真乃介	小山 真由子	青山 厚太
		自動車メーカー	自動車販売店		自動車販売店
1.授業概要と履修前提		アライメント パワステ		アクティブセーフティー エーミング エーミング	
2.教科の到達目標		アライメント測定から理解度を高める パワステの理解度を高める		車両にてABS、TRCの構成部品が分かる エーミング作業が理解できる ボデー脱着 パワーウィンドウ脱着ができる	
3.使用教科書、準備品		2級シャシ		電気装置2	
4.授業時間		前期	42	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標		(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法		電装実習Aの平常試験5%、電装実習Bの平常試験5% 電装実習Aのレポート5%、電装実習Bのレポート5% 電装AとBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(実習:電気装置ⅡA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1~2	官林 青谷	アライメント	キャンバの役割が理解できる	34A	2
前期	3~5	官林 青谷	アライメント	キャスタ・キングピンアングルの役割が理解できる	34A	3
前期	6~8	官林 青谷	アライメント	トーイン・サイドスリップ・ターニングラジアスの役割が理解できる	34A	3
前期	9	官林 青谷	アライメント	セットバック・スラスト角・アクスルオフセットが理解できる	34A	1
前期	10~23	官林 青谷	アライメント	測定ができる	34A	14
前期	24~27	官林 青谷	ステアリング	操作機構が理解できる	212	4
前期	28~32	官林 青谷	ステアリング	ギヤ機構・リンク機構が理解できる	212	5
前期	33~34	官林 青谷	旋回性能	コーナリングフォースとスリップアングルの関係が理解できる	212	2
前期	35~42	官林 青谷	パワステ	構造が理解できる	212	8

授業計画表(実習:電気装置ⅡB)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1~5	小山 青山	ECB	ECB通信の概要、構成、制御を理解する	238	5
前期	6~8	小山 青山	ABS	構成部品、制御を理解する	34	3
前期	9~11	小山 青山	TRC	作動理解する	34	3
前期	12~13	小山 青山	車輪速センサ	基本構造、作動が理解できる	34	2
前期	14~17	小山 青山	TSS	TSSの体験走行を行い、各作動が理解できる	テストコース	4
前期	18~20	小山 青山	エーミング	エーミングの概要、作業手順が分かる	34	3
前期	21~24	小山 青山	ボデー構造	概要 構造が分かる	238	4
前期	25~39	小山 青山	ボデー脱着	バンパー脱着・内装脱着ができる	33中	15
前期	40~43	小山 青山	パワーウィンドウ	レギュレータ脱着ができる	34B	4

2024年度

法規 シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	前期	教科時間計	13

	法規A	法規B
教員名 実務経験	小川 剛司	
1.授業概要と履修前提	道路運送車両法を理解する	
2.教科の到達目標	国家試験問題が解ける	
3.使用教科書、準備品	法令教本(公論出版)	
4.授業時間	前期 12 - 0	前期 0 - 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験20% 定期試験80%	

授業計画表(学科:法規A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1~11	小川	道路運送車両法	得点率が80%以上取れる	235	11
前期	12	小川	平常試験		235	1

授業計画表(学科:法規B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2024年度

法規 シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	後期	教科時間計	10

	法規A	法規B
教員名 実務経験	小川 剛司	
1.授業概要と履修前提	保安基準を理解する	
2.教科の到達目標	国家試験問題が解ける	
3.使用教科書、準備品	法令教本(公論出版)	
4.授業時間	後期 9 - 0	0 - 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験20% 定期試験80%	

授業計画表(学科:法規A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1~8 1	小川 小川	保安基準 平常試験	国家試験問題が解けるようになる 得点率が80%以上取れる	235 235	8 1

授業計画表(学科:法規B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2025年度

エンジンⅡ シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車工学科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	47

教員名 実務経験	エンジンⅡA		エンジンⅡB	
	小川 剛司	矢下 椋大 自動車販売店	浅野 忠伯	長谷川 貴史 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	ディーゼルエンジン コモンレール式ディーゼルエンジン 整備機器取り扱い		ガソリンエンジン 電子点火装置(ESA) アイドル回転速度制御装置・電子スロットル	
2.教科の到達目標	ディーゼルエンジンとガソリンエンジンの違いを説明できる コモンレール式の概要・各種制御を理解し説明できる 国家試験問題を解くことができる		電子点火装置の作動を理解し説明できる アイドル回転速度制御装置を理解し説明できる 国家試験問題を解くことができる	
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト 1STEP・2STEP 2級ジーゼル自動車エンジン編		トヨタサービス技術テキスト 1STEP・2STEP 2級ガソリン自動車 エンジン編	
4.授業時間	後期 32	- 0	後期 13	- 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (○)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	エンジンⅡAの平常試験10%、エンジンⅡBの平常試験10% エンジンⅡAとⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(学科:エンジンⅡA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1~2	小川 矢下	ディーゼル本体	ディーゼルエンジンの特徴を理解する	241	2
後期	3~4	小川 矢下	ディーゼル本体	軽油の性状を理解する	241	2
後期	5	小川 矢下	ディーゼル本体	ディーゼルエンジンの4行程について理解する	241	1
後期	6~7	小川 矢下	ディーゼル本体	空気過剰率、体積効率について理解する	241	2
後期	8	小川 矢下	ディーゼル本体	ディーゼルノックについて理解する	241	1
後期	9~10	小川 矢下	ディーゼル本体	排気ガス中の有害ガス及び対策を理解する	241	2
後期	11~12	小川 矢下	ディーゼル本体	ディーゼルエンジンの3要素を理解する	241	2
後期	13	小川 矢下	ディーゼル本体	予熱装置について理解する	241	1
後期	14	小川 矢下	燃料装置	近年のディーゼルエンジン事情を理解する	241	1
後期	15~16	小川 矢下	燃料装置	コモンレール式の特徴・全体構成を理解する	241	2
後期	17~22	小川 矢下	燃料装置	サポライポンプの種類・特徴を理解する	241	6
後期	23~25	小川 矢下	燃料装置	ECUの内部構成及び制御を理解する	241	3
後期	26~27	小川 矢下	吸排気装置	後処理装置について理解する	241	2
後期	28~30	小川 矢下	エンジン本体	計測器取り扱いを理解する	241	3
後期	31	小川 矢下	eテスト	eテスト(ディーゼルエンジン、尿素SCR)の内容を理解する	241	1
後期	32	小川 矢下	平常試験	授業内容全般を理解する	241	1

授業計画表(学科:エンジンⅡB)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	浅野 長谷川	電子制御装置	点火制御装置の概要を理解する	242	1
後期	2	浅野 長谷川	電子制御装置	点火制御装置の役目・構造を理解する	242	1
後期	3	浅野 長谷川	電子制御装置	点火制御装置の回路・信号を理解する	242	1
後期	4	浅野 長谷川	電子制御装置	点火制御装置の作動を理解する	242	1
後期	5~6	浅野 長谷川	電子制御装置	点火制御装置の点火時期制御を理解する	242	2
後期	7	浅野 長谷川	電子制御装置	点火制御装置の点火補正を理解する	242	1
後期	8	浅野 長谷川	電子制御装置	アイドル回転制御装置の概要・役目・構造を理解する	242	1
後期	9	浅野 長谷川	電子制御装置	アイドル回転制御方法を理解する	242	1
後期	10	浅野 長谷川	電子制御装置	電子制御式スロットルの概要・特徴を理解する	242	1
後期	11	浅野 長谷川	電子制御装置	電子制御式スロットルの制御を理解する	242	1
後期	12	浅野 長谷川	eテスト	eテスト(エンジンの3要素・GTSの活用)の内容を理解する	242	1
後期	13	浅野 長谷川	平常試験	授業内容全般を理解する	242	1

2025年度

エンジン実習Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車工学科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	59

教員名 実務経験	エンジン実習ⅡA		エンジン実習ⅡB	
		小川 剛司	矢下 椋大 自動車販売店	浅野 忠伯
1.授業概要と履修前提	ディーゼルエンジン コモンレール式ディーゼルエンジン 整備機器取り扱い		ガソリンエンジンの故障探求 電子点火装置	
2.教科の到達目標	ディーゼルエンジンの特徴・構造等が理解できる コモンレール式燃料噴射装置の構成や役割が理解できる 正しい測定値を得るための計測器の取扱いができる		故障探求の手順・方法が理解できる 電子点火装置の作動が理解できる	
3.使用教科書、準備品	自動車整備技術 ディーゼルエンジン 2級ジーゼル自動車エンジン編 トヨタサービス技術テキスト 工具、計測器、整備機器編		自動車整備技術 ガソリンエンジン 2級ガソリン自動車 エンジン編	
4.授業時間	後期	19	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	エンジン実習ⅡAの平常試験・レポート10%、エンジン実習ⅡBの平常試験・レポート10% エンジン実習ⅡAとⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(実習:エンジンⅡA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	小川 矢下	エンジン本体	エンジンの全体構成・各部名称・取り付け位置を理解する	32A	1
後期	2	小川 矢下	エンジン本体	各センサーの名称・取り付け位置を理解する	32A	1
後期	3	小川 矢下	エンジン本体	燃料系統の取外しができ、コモンレールの構造を理解する	32A	1
後期	4	小川 矢下	エンジン本体	燃料系統の取外しができ、インジェクタの構造を理解する	32A	1
後期	5	小川 矢下	エンジン本体	本体部品の取外しができ、吸排気装置の構造を理解する	32A	1
後期	6	小川 矢下	エンジン本体	分解・構造確認を通して、ディーゼルエンジン構造を理解する	32A	1
後期	7	小川 矢下	エンジン本体	シリンダヘッドの取外しができ、燃焼室について理解する	32A	1
後期	8	小川 矢下	エンジン本体	シリンダヘッドの組付けができるようになる	32A	1
後期	9	小川 矢下	エンジン本体	エンジン本体のトルク管理・復元ができるようになる	32A	1
後期	10~11	小川 矢下	エンジン本体	燃料系統のトルク管理・復元ができるようになる	32A	2
後期	12	小川 矢下	エンジン本体	車両にて全体構成や取り付け状態を理解する	32A	1
後期	13	小川 矢下	エンジン本体	車両にてエンジン始動・メータ表示を理解する	32A	1
後期	14	小川 矢下	エンジン本体	車両にて外部診断機を用いたデータ確認を理解する	32A	1
後期	15	小川 矢下	エンジン本体	車両にて外部診断機を用いた補正值登録を理解する	32A	1
後期	16	小川 矢下	ディーゼル本体	大型車両の概要、構造を理解する(愛知日野自動車様講師)	51実	1
後期	17	小川 矢下	ディーゼル本体	燃料系作業方法を理解する(愛知日野自動車様講師)	51実	1
後期	18	小川 矢下	ディーゼル本体	燃欠時の対応を理解する(愛知日野自動車様講師)	51実	1
後期	19	小川 矢下	平常試験	授業内容全般を理解する	32A	1

授業計画表(実習:エンジンⅡB)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	浅野 長谷川	点火制御装置	ESAの概要、構造を理解する	32B	1
後期	2	浅野 長谷川	点火制御装置	ESAの制御を理解し、波形観測ができるようになる	32B	1
後期	3	浅野 長谷川	点火制御装置	データモニターにて回転速度と負荷の関係を理解する	32B	1
後期	4~5	浅野 長谷川	故障探求	故障探求の5つのステージを理解する	32B	2
後期	6	浅野 長谷川	故障探求	故障探求のフローチャートを作成することができるようになる	32B	1
後期	7	浅野 長谷川	故障探求	パワーバランス点検ができるようになる	32B	1
後期	8	浅野 長谷川	故障探求	W/H、リレーの単体点検ができるようになる	32B	1
後期	9	浅野 長谷川	エンジントラブル	ECU、センサ電圧測定ができるようになる	32B	1
後期	10~12	浅野 長谷川	エンジントラブル	課題1の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	13~15	浅野 長谷川	エンジントラブル	課題2の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	16~18	浅野 長谷川	エンジントラブル	課題3の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	19~21	浅野 長谷川	エンジントラブル	課題4の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	22~24	浅野 長谷川	エンジントラブル	課題5の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	25~27	浅野 長谷川	エンジントラブル	課題6の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	28~30	浅野 長谷川	エンジントラブル	課題7の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	31~33	浅野 長谷川	エンジントラブル	課題8の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	34~36	浅野 長谷川	エンジントラブル	課題9の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	37	浅野 長谷川	エンジントラブル	復習を通し、トラブルシュートについて理解する	32B	1
後期	38	浅野 長谷川	平常試験	授業内容全般を理解する	32B	1

2025年度

シャシⅡ シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車工学科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	後期	教科時間計	24

教員名 実務経験	シャシⅡA		シャシⅡB					
		小掠 哲弘	上田 貴洋	立山 耕司	佐藤 和哉 自動車販売店			
1.授業概要と履修前提	車検書類について 継続検査に関する保安基準と検査機器の取り扱い		トヨタ技術検定3級					
2.教科の到達目標	車検に必要な各書類の用途を説明できる 車検申請の流れを説明できる 継続検査の実施要領を説明できる		トヨタ検定3級に合格できる整備, 技術知識の習得 学科, 実技の両方でのペーパー問題が答えられる					
3.使用教科書、準備品	法令テキスト 技術テキスト 導入教育編		技術テキスト導入教育編、工具・計測器・整備機器編 技術テキスト1STEP、2STEP、					
4.授業時間	後期	15	-	0	後期	8	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	シャシⅡAの平常試験10%、シャシⅡBの平常試験10% シャシⅡAとシャシⅡBの内容を合わせた定期試験80%							

授業計画表(学科:シャシⅡA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1~2	小掠 上田	車検整備	登録および検査の車の種別、検査の種類を理解する	222	2
後期	3~4	小掠 上田	車検整備	継続検査の実施方法を理解する	222	2
後期	5	小掠 上田	車検整備	検査申請書類を理解する	222	1
後期	6	小掠 上田	車検整備	必要書類および税金、手数料を理解する	222	1
後期	7~8	小掠 上田	車検整備	書類作成の継続検査書類作成方法を理解する	222	2
後期	9	小掠 上田	車検整備	前期の復習	222	1
後期	10	小掠 上田	基礎	トヨタ検定を理解する	222	1
後期	11~12	小掠 上田	定期点検整備	実技の流し方、点検方法を理解する	222	2
後期	13	小掠 上田	基礎	国家試験対策(工学)	222	1
後期	14	小掠 上田	基礎	復習	222	1
後期	15	小掠 上田	定期点検整備	平常試験	222	1

授業計画表(学科:シャシⅡB)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	立山 佐藤	トヨタ検定3級	トヨタ検定3級の検定制度・概要の検定制度概要、目的を理解する	237	1
後期	2~6	立山 佐藤	トヨタ検定3級	テキストの内容を理解し、問題に対して正しく解答できる	237	5
後期	7	立山 佐藤	基礎	ペーパー問題の内容を復習する	237	1
後期	8	立山 佐藤	平常試験	理解度向上および平常試験	237	1

2025年度

シャシⅡ実習 シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車工学科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	81

教員名 実務経験	シャシⅡ実習A		シャシⅡ実習B					
		小掠 哲弘	上田 貴洋	立山 耕司	佐藤 和哉 自動車販売店			
1.授業概要と履修前提	24ヵ月定期点検 継続検査、検査ライン		トヨタ技術検定3級					
2.教科の到達目標	正確な点検、記録簿の正しい記載ができる 車検検査機器の取り扱い方を理解する トヨタ検定3級レベルの定期点検が正確にできる		トヨタ検定3級に合格できる整備、技術知識の習得 実習のペーパー問題が答えられる					
3.使用教科書、準備品	トヨタ定期点検作業要領説明書 技術テキスト 導入教育編 教育用メンテナンスノート		技術テキスト導入教育編、工具・計測器・整備機器編 技術テキスト1STEP、2STEP、電気装置1-A、テスター					
4.授業時間	後期	36	-	0	後期	43	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	シャシⅡAの平常試験5%、シャシⅡBの平常試験5% シャシⅡAのレポート5%、シャシⅡBのレポート5% シャシⅡAとシャシⅡBの内容を合わせた定期試験80%							

授業計画表(実習:シャシⅡA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～3	小掠 上田	公害発散防止	公害発散防止装置を理解し、点検ができるようになる	31A	3
後期	4～5	小掠 上田	車検整備	24ヶ月定期点検の新規点検項目ができるようになる	31A	2
後期	6～13	小掠 上田	車検整備	24ヶ月定期点検整備、多頻度作業ができるようになる(1ローテ目)	31A	8
後期	14～21	小掠 上田	車検整備	24ヶ月定期点検整備、多頻度作業ができるようになる(2ローテ目)	31A	8
後期	22～29	小掠 上田	車検整備	24ヶ月定期点検整備、多頻度作業ができるようになる(3ローテ目)	31A	8
後期	30～31	小掠 上田	車検整備	検査機器の取り扱いができるようになる	31A	2
後期	32～33	小掠 上田	車検整備	ブレーキフルードエア抜き(HV車)ができるようになる	31A	2
後期	34～35	小掠 上田	定期点検整備	平常試験(実技チェック)	31A	2
後期	36	小掠 上田	定期点検整備	平常試験(実技ペーパー)	222	1

授業計画表(実習:シャシⅡB)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～7	立山 佐藤	§1 ピストン脱着	作業時間を意識し、正確な値を出すことができる	33A	7
後期	8～14	立山 佐藤	§2 オルタネータ脱着	作業時間を意識し、安全に作業を行うことができる	34A	7
後期	15～21	立山 佐藤	§3 スタータ点検	本体点検、性能点検を正しく行い、良否判定ができる	34A	7
後期	22～28	立山 佐藤	§4 オルタネータ点検	本体点検、性能点検を正しく行い、良否判定ができる	34A	7
後期	29～35	立山 佐藤	§5 エンジン部品計測	計測機器の取り扱いを理解し、正確な計測ができる	34A	7
後期	36～39	立山 佐藤	§6 ペーパー問題	テキストの内容を理解し、問題に対して正しく解答できる	34A	4
後期	40～41	立山 佐藤	GWT	各セクションの作業効率向上について	34A	2
後期	42	立山 佐藤	習熟	今回学んだことを想起し、抜け、漏れ、理解不足を把握し、補う	34A	1
後期	43	立山 佐藤	平常試験	ペーパー試験		1

2025年度

電気装置Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車工学科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	後期	教科時間計	38

教員名 実務経験	電気装置ⅡA		電気装置ⅡB					
		官林 佳希 自動車メーカー	青谷 真乃介 自動車販売店	小山 真由子	青山 厚太 自動車販売店			
1.授業概要と履修前提	自動車エアコンの冷凍サイクルを学ぶ		ハイブリッドカー アクティブセーフティ(エアバッグ シートベルト)					
2.教科の到達目標	冷凍サイクルの構成部品が分かることによって国家二級の知識が身に付く 冷凍サイクル内の状態が分かることによって国家二級の知識が身に付く		安全装置全般内容を理解し、将来お客様に説明できるようになる 「電動車両整備の安全知識」の資格取得(理解ができる)					
3.使用教科書、準備品	2級シャシ		2級シャシ トヨタサービス 1、2STEP					
4.授業時間	後期	15	-	0	後期	22	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	電装Aの平常試験10%、電装Bの平常試験10% 電装AとBの内容を合わせた定期試験80%							

授業計画表(学科:電気装置ⅡA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1~2	官林 青谷	エアコン概要	冷房、暖房の概要を理解する	237	2
後期	3~6	官林 青谷	冷房装置概要	冷房の原理を理解する	237	4
後期	7~11	官林 青谷	構成部品	各部品の役目、作動を理解する	237	5
後期	12	官林 青谷	マニュアルエアコン	マニュアル、オートの違いをわかりかえる	237	1
後期	13	官林 青谷	オートエアコン	オートエアコン制御を理解する	237	1
後期	14	官林 青谷	復習	国家試験問題が解けるようになる	237	1
後期	15	官林 青谷	平常試験		237	1

授業計画表(学科:電気装置ⅡB)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1~2	小山 青山	ハイブリッドカー	概要 必要性・種類	238	2
後期	3~4	小山 青山	ハイブリッドカー	特徴	238	2
後期	5~12	小山 青山	ハイブリッドカー	構成部品	238	8
後期	13~14	小山 青山	ハイブリッドカー	FCV	238	2
後期	15~17	小山 青山	ハイブリッドカー	電動車両整備の安全知識(旧低電圧)	238	3
後期	18~19	小山 青山	エアバッグ	エアバッグの概要、構成、制御を理解する	238	2
後期	20~21	小山 青山	シートベルト	シートベルトの概要、構成、制御を理解する	238	2
後期	22	小山 青山	平常試験		238	1

2025年度 電気装置実習Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科2年・高度自動車工学科2年・国際自動車整備科3年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	85

		電気装置実習ⅡA			電気装置実習ⅡB				
教員名 実務経験		官林 佳希	青谷 真乃介	小山 真由子	青山 厚太				
		自動車メーカー	自動車販売店		自動車販売店				
1.授業概要と履修前提		冷凍サイクルの状態を理解し、ゲージマニホールドの取り扱い及び充填方法を学ぶ トヨタ検定3級 実技内容を習得する			ハイブリッドカー整備 内装ボデー				
2.教科の到達目標		ゲージマニホールドの取扱いが出来る クリーンエアフィルタの交換が出来る トヨタ検定3級の作業が出来る			ハイブリッドカー整備の整備が出来る 診断機や技術マニュアルの取り扱いができる 内装部品の知識をつけお客様に説明ができる				
3.使用教科書、準備品		電気装置2			2級ジャシ トヨタサービス1、2STEP				
4.授業時間		後期	45	-	0	後期	38	-	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標		(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法		電装実習Aの平常試験5%、電装実習Bの平常試験5% 電装実習Aのレポート5%、電装実習Bのレポート5% 電装AとBの内容を合わせた定期試験80%							

授業計画表(実習:電気装置ⅡA)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1~3	官林 青谷	エアコン	構成部品・整備機器の理解	34	3
後期	4~6	官林 青谷	エアコン	冷媒量点検の理解	34	3
後期	7~14	官林 青谷	エアコン	ゲージマニホールド取り扱い(冷媒回収・真空引き・充填)	34	8
後期	15	官林 青谷	エアコン	ガス漏れ点検	34	1
後期	16~20	官林 青谷	エアコン	技術チェック(ゲージマニホールド取り扱い)	34	5
後期	21~22	官林 青谷	エアコン	クリーンエアフィルタ交換作業	34	2
後期	23	官林 青谷	エアコン	パネルダイアグの知識	34	1
後期	24	官林 青谷	エアコン	平常試験	237	1
後期	25~26	官林 青谷	トヨタ検定3級	概要 危険予知トレーニング	237	2
後期	27~31	官林 青谷	トヨタ検定3級	オルタネータ脱着・点検	33	5
後期	32~36	官林 青谷	トヨタ検定3級	スタータ分解・組付け・点検	33	5
後期	37~41	官林 青谷	TeamGP	アクスルハブ脱着	33	5
後期	42~43	官林 青谷	TeamGP	スキルチェック(プレスを使用した部品の脱着作業)	33	2
後期	44~45	官林 青谷	トヨタ検定4級	ボルト脱着	33	2

授業計画表(実習:電気装置ⅡB)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1~5	小山 青山	ハイブリッド	インバータ回路理解	245	5
後期	6~7	小山 青山	ハイブリッド	導入 危険予知トレーニング	34	2
後期	8~15	小山 青山	ハイブリッド	HVバッテリー脱着	34	8
後期	16~18	小山 青山	ハイブリッド	PCU分解・内部理解	34	3
後期	19~20	小山 青山	ハイブリッド	クーリングブロワ作動	34	2
後期	21~23	小山 青山	ハイブリッド	共線図理解	34	3
後期	24	小山 青山	ハイブリッド	理解度確認	34	1
後期	25~27	小山 青山	ハイブリッド	走行実習	34	3
後期	28~33	小山 青山	ハイブリッド	スキルチェック(ゼロボルト確認)	34	6
後期	34~35	小山 青山	内装ボデー	シートベルト	34	2
後期	36~38	小山 青山	内装ボデー	アクセサリソケット・シート	34	3